# 特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
# 第 22 期（2021 年 7 月～2022 年 6 月）通常総会
# 議案書

・第 1 号議案　第 21 期（2020 年 7 月～2021 年 6 月）事業報告
・第 2 号議案　第 21 期（2020 年 7 月～2021 年 6 月）決算報告
・第 3 号議案　第 22 期（2021 年 7 月～2022 年 6 月）事業計画
・第 4 号議案　第 22 期（2021 年 7 月～2022 年 6 月）予算
・第 5 号議案　役員改選

日時：2021 年 8 月 21 日（土）17:00～18:30

場所：オンライン（Zoom）

## 第 1 号議案　第 21 期事業報告（2020 年 7 月～2021 年 6 月）

第 21 期も昨期と同様にコロナ禍の影響を受け、全主催事業への参加者数はのべ 2,270 名と 2 年連続で減少した（第 19 期 2,569 名→第 20 期 2,369 名）。ただし、減少要因のなかには、はまどま使用時の参加者定員の削減、外部団体等との連携自粛、飲食を伴う活動の自粛などコロナ関連だけではなく、「森と畑と音楽と」において作業の省力化を図ったことも挙げられる。また、コロナ禍にオンラインでつながるスキルアップを果たすために、オンライン自然観察会やリアルな活動をウェブ動画で伝えるワークショップを開催して、NORA の学びと経験を他団体と共有する中間支援的な役割も担った。

2018 年から継続してきた「はまどま改革」に関しては、2020 年 8 月からコーディネーターが入り、地域への開き方について再考するとともに、利用時の決まりごとの確認・整理、利用マニュアルの作成などを進めた。はまどまプロジェクトのなかでは、「はぶすぱラボ」が毎月定例開催されるようになり、新しい参加者層を集めている。

収支については、受託事業が堅調なことから 7 期連続の黒字となった。「もったいないから竹細工」の参加者が多数入会したこと、よこはま夢ファンドを通して寄付を集めて助成金として活用できている面も、収支構造の安定化に役立っている。

2020 年に NORA は設立 20 周年を迎えた。国連が 2030 年を目標年として採択した SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、NORA もこれからの 10 年間の方向性が重要になる。第 21 期には、今後のビジョンや中長期計画の策定に向けて、各理事が担当する NORA サロンを開催した。サロン全体を通して、活動の中心を里山に置きながらも、きわめて多様なテーマや課題、主体（アクター）と繋がっていることを確認できた。ビジョンの策定等の課題は来期に持ち越しとなったが、NORA に集う人びとの知識・技術、主体性・自発性が生きるような対話的な場をつくりながら、「里山とかかわる暮らし」と「里山をいかす仕事づくり」をすすめていきたい。

### 自主事業

*里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動*

１．ヤマ事業

１）NORA の山仕事

川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）において、「森の中で憩える空間」づくりを継続的におこなっている。第 21 期は湧き水エリアや苗場奥の植林エリアなど、林内の整備を充実することができた。

毎月第 2・第 4 日曜日の定例活動への参加者数は、雨天中止やコロナ禍の影響を受けながらも、のべ 259 名（昨期 212 名）と昨年を上回った。モリダスとの共催事業によって、活動に関わるメンバーが安全に作業をおこなうためのスキルアップ研修も継続できた。定例活動以外に補足的に林内を整備する「やま守り編」も、はまどまプロジェクトとの連携や、間伐材の利活用の新たな取り組みによって、参加者数をのべ 187 名（昨期 135 名）と伸ばすことができた。

| 実施日 | 活動内容 | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|---|
| 7/12（日） | 機械除草、人力除草 | 4 | 1 |
| 7/26（日） | 遊歩道の新設、間伐材の運材 | 21 | 1 |
| 8/9（日） | 間伐材の運材、機械除草（竹林エリア） | 8 | 1 |
| 8/23（日） | 間伐材の運材 | 4 | 1 |
| 9/13（日） | 湧き水エリアの浚渫、砂防ダム作り | 10 | 1 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 9/27（日） | 被害木の枝処理＆集積、機械除草 | 9 | 1 |
| 10/11（日） | 間伐材チップ敷き、機械除草、資材伐り出し | 6 | 1 |
| 10/25（日） | 製材（太鼓落とし材）、間伐材の運材 | 6 | 1 |
| 11/8（日） | 製材（太鼓落とし材）、林床整理、機械除草、皮むき | 7 | 1 |
| 11/22（日） | ランク２審査会（8 名）、ツル外し、下草刈り | 13 | 1 |
| 12/13（日） | ミズキ台場切り 5 本 | 4 | 1 |
| 12/27（日） | ミズキ台場切り 2 本、チェーンソー目立て | 7 | 1 |
| 1/10（日） | 広葉樹間伐、ミズキ台場切り、赤松の養生 | 10 | 1 |
| 2/14（日） | ミズキ台場切り、未詳広葉樹の除伐、焼き板づくり | 12 | 1 |
| 2/28（日） | 間伐材玉切り、広葉樹除伐、移植準備（流入土運び） | 10 | 1 |
| 3/14（日） | 間伐材の運材、ロープワーク審査 | 13 | 1 |
| 3/28（日） | 広葉樹除伐、欠頂木除伐、皮むき、苗場整備 | 13 | 1 |
| 4/11（日） | 広葉樹・欠頂木の除伐、機械除草、丸太の皮むき | 11 | 1 |
| 4/25（日） | 製材、薪割、丸太の皮むき、人力除草、広葉樹の除伐 | 13 | 1 |
| 5/9（日） | 審査会振り返り、製材、機械除草、人力除草、苗場奥の足場施工 | 8 | 1 |
| 5/23（日） | 運材、廃材の集積、皮むき、人力除草、苗場植栽管理、機械除草、お香 WS | 25 | 1 |
| 6/13（日） | 苗場人力除草、フェンス際機械除草、審査会の復習 | 11 | 1 |
| | ※1/24（日）、6/27（日）雨天中止 | 225 | 22 |

【やま守り編】

| 実施日 | 活動内容 | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|---|
| 8/10（月祝） | ロープワーク研修 | 9 | 3 |
| 8/30（日） | 間伐材の運材 | 8 | 1 |
| 9/8（火） | 浚渫、皮むき、草取り、運材 | 24 | 1 |
| 9/30（水） | チップ化支援作業、審査会練習 | 4 | 1 |
| 12/6（日） | 落ち葉かき、湧き水エリア補修、販売用資材の確認 | 0 | 1 |
| 1/7（木） | 審査会練習、クレソン移植、苗場落ち葉かき | 2 | 1 |
| 1/28（木） | 広葉樹枝おろし、掛かり木除伐、森ごはん | 6 | 1 |
| 2/4（木） | 焼き板づくり、ベンチ補修 | 3 | 1 |
| 2/10（水） | 焼き板作り、薪割 | 2 | 1 |
| 3/7（日） | ロープワーク研修、苗場林床整理 | 12 | 1 |
| 3/11（木） | 製材、焼丸太づくり、ほだ木菌コマ打ち、デッキ屋根補修 | 3 | 1 |
| 3/20（土） | デッキ屋根補修 | 1 | 1 |
| 4/6（火） | 板材加工、苗場隣地の機械除草 | 1 | 1 |
| 4/12（月） | 苗場の植栽管理、人力除草 | 1 | 1 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4/24（土） | 苗場の植栽管理、人力除草 | 0 | 1 |
| 5/1（土） | 森づくりレベルアップ研修 step3（2 日目）、苗場植栽管理 | 8 | 1 |
| 5/2（日） | 森づくりレベルアップ研修 step3（3 日目審査）、苗場植栽管理 | 9 | 1 |
| 5/5（水） | 苗場の防鳥ネット補修 | 2 | 1 |
| 5/8（土） | 森づくりレベルアップ研修 step1（1 日目） | 17 | 1 |
| 5/14（金） | 森づくりレベルアップ研修 step1（2 日目）、苗場植栽管理 | 18 | 1 |
| 5/30（日） | はぶすぱラボ、グリーンウッドワーク | 29 | 1 |
| 6/6（日） | 苗場植栽管理 | 1 | 1 |
| 6/9（水） | 苗場植栽管理 | 0 | 1 |
| | | 161 | 25 |

２）竹を活かす山仕事

手入れが行き届かなくなった竹林は拡大し、農地や生活環境を侵食するなど、里山の景観に大きな影響を及ぼしている。竹林を手入れすることで畑を守り、里山生態系のバランスを保つために、原則月 1 回、中井町でお世話になっている農家と、その親戚が所有する民有地で竹林を整備した。

第 21 期も「もったいないから竹細工」の事業収入によって運営費用を捻出できた。定例メンバーの減少が続く中、少しずつではあるがリピーターの定着を確認できた。参加者数は、のべ 80 名（昨期 65 名）であった。

| 実施日 | 活動内容 | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|---|
| 7/19（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 3 | 1 |
| 8/16（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 3 | 1 |
| 9/20（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 6 | 1 |
| 10/18（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 7 | 1 |
| 11/15（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 7 | 1 |
| 12/20（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 7 | 1 |
| 1/17（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 6 | 1 |
| 2/21（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 4 | 1 |
| 4/4（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 4 | 1 |
| 4/18（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 8 | 1 |
| 5/16（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 6 | 1 |
| 6/20（日） | 竹の間伐、間伐材の搬出 | 7 | 1 |
| | ※3/21（日）雨天のため 4/4（日）に順延実施 | 68 | 12 |

３）よこはま里山レンジャーズ（連携：認定 NPO 法人自然環境復元協会（NAREC））

本事業は、里山保全活動を始めようとする主に若い世代と、活動支援を必要としている既存の活動団体とをつなぐマッチングプログラムである。NAREC の「レンジャーズプロジェクト」に登録したボランティア「レンジャー」（4,039 名、2021 年 3 月時点）に対し、受入団体と活動内容が調整された出動要請メールが発信され、レンジャーはそのメールに返信するだけで希望する活動に参加できる。活動当日は 10～20 名程度のレンジャーが集まり、レンジャーズリーダーの誘導のもと受入団体の活動に参加す

るため、一人で参加する心細さがない。

9 年目を迎えた第 21 期は、市内 6 か所のフィールドにおいて 8 回のレンジャーズ活動を計画し、7 回実施した。参加者数は 66 名（昨期 7 回実施、75 名参加）であった。なお、20 期から引き続くコロナ禍の影響により 5-6 月の開催が中止となった。また、11 月 14 日（土）には、NAREC が主催したリーダー説明会の開催協力をおこなった。

| 回 | 実施日 | 実施場所 | 受入団体 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 7/26（土） | 川井緑地 | NPO 法人よこはま里山研究所 | 9 |
| 2 | 9/20（日） | 長浜公園 | 公益財団法人横浜市緑の協会 | 雨天中止 |
| 3 | 10/24（土） | 瀬上市民の森 | 瀬上さとやまもりの会 | 14 |
| 4 | 12/6（日） | 桜ヶ丘緑地 | 桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト | 10 |
| 5 | 2/14（日） | 瀬上市民の森 | 瀬上さとやまもりの会 | 6 |
| 6 | 3/6（土） | 谷矢部池公園 | わかぎの会、NPO 法人ぷらっと | 12 |
| 7 | 5/23（日） | 川井緑地 | NPO 法人よこはま里山研究所 | 8 |
| 8 | 6/12（土） | 元町公園プール | 横浜にとんぼを育てる会 | 7 |
| | | | | 66 |

4）都市の里山資源の活用推進事業（令和 2 年度「緑の募金」公募事業）

NORA が目指している「かつての里山のように、暮らしと里山との距離を近づける」ことによる里山環境の再生を目標に、川井緑地の活動で産出する里山資源の活用検討を、国土緑化推進機構「緑の募金」の助成金を活用して実施した。第 21 期は、主に川井緑地で活動するメンバーを対象に、以下の研修会を開催した。

| 回 | 実施日 | 実施場所 | 内容 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 5/23（日） | 川井緑地 | 森のめぐみ お香で使える材料（講師：粕谷恵） | 12 |
| 2 | 5/30（日） | 川井緑地 | 自然豊かな「川井の森」で癒しの体験（講師：三浦まきこ） | 17 |
| 3 | 5/30（日） | 川井緑地 | グリーンウッドワーク研修会（講師：葉山潮） | 12 |
| 4 | 6/27（日） | フォーラム南太田 | 水中乾燥研修会（講師：定成政憲） | 10 |
| | | | | 51 |

5）山道具の安全使用（提携：株式会社シンコー）

株式会社シンコー社とサブ店契約を締結（2011 年 6 月）して、チェーンソーメーカー（スチール STIHL）の二次代理店業務を担い、環境に配慮しつつ安全性を高めた緑地保全活動用の機材使用の啓発をすすめている。第 21 期は、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、各種の活動が自粛となり販売実績がなかった。

6）まちの近くで里山をいかすシゴトづくり

(1) リアルな活動を Web 動画で伝えるオンライン・ワークショップ（横浜市市民公益活動緊急助成金）

コロナ禍で対面を伴う体験活動が困難になるなか、リアルな活動をオンラインで広報するニーズが高まった。そこで、「リアルな活動を Web 動画で伝えるオンライン・ワークショップ～コンテンツを考え、映像を撮影・編集し、ネット配信するまでの 5 日間」を企画し、横浜市の緊急助成金を得て開催した。講師には高部優子さん（株式会社ビープロダクション）を迎え、参加者・団体は NORA を含めて 5 組 11 名であった。

| 回 | 実施日 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 10/14（水） | アイスブレイク、映像の種類や仕組み、コンテンツ案の検討 |
| 2 | 10/28（水） | コンテンツ案の発表、撮影・インタビュー技法、素材収集の方法 |
| 3 | 11/18（水） | 編集方法 |
| 4 | 12/2（水） | 動画制作の中間発表 |
| 5 | 12/23（水） | 動画制作の最終発表 |

(2) 環境 NPO 運営スタッフ懇談会

中小規模の環境 NPO では、次々に押し寄せる運営上の課題に対して、スタッフがほぼ独力で対応している。その試行錯誤は、貴重な経験として団体内に蓄積されるが、ほかの団体にとっても役立つ情報であることが多い。そこで、環境 NPO の運営を担うスタッフが個人の意志から集い、自団体の経験をオープンにして学び合う懇談会を 2020 年 8 月に立ち上げた。東京・神奈川・静岡・大阪・福岡に事務所を持つ環境 NPO9 団体 9 名が月に 1 回平日夕方に集い、コロナ禍の対応、バックオフィス（会員管理、オンライン決済、プロジェクト管理)、森林環境贈与税などについて経験を共有した。

(3) 「里山コネクト」の改善計画

プロボノ集団である a-con の協力を得て、2018 年 2 月にウェブサイト「里山コネクト」を立ち上げたが、その後 2 年半が経過し、閲覧数を増やすために再び協働事業に取り組むことになった。コロナ禍のためにリモートワークですべておこなうことにして、2020 年 7 月にキックオフ会議を開催。ほぼ隔週でメンバー8 名による会議を続け、10 月に広報改善の計画を作成したが、ほぼ無料でできる範囲で検討したために、閲覧数の増加に結びつけることはできなかった。

7）安全で楽しい森林づくり活動を指導できるリーダー養成事業

（令和 2 年度「緑と水の森林ファンド」、主催：モリダス）

モリダスは、横浜・多摩地域で森林づくり・里山保全活動を実践してきた市民が、適切なメソッドを持って人材育成を図る必要性を感じ、2018 年 3 月に設立したネットワーク型の任意団体である。NORA は、モリダス主催のリーダー養成事業を共催するかたちで緊密に連携を図っている。

2020 年 6 月、森づくり安全技術・技能全国推進協議会（FLC）が解散したことにより、FLC の「森づくり安全技術・技能習得制度」を全面的に見直し、チェーンソーによる伐木作業に至る手前の人材育成プロラムの開発・体系化を図っている。第 21 期は、森づくりレベルアップ研修を step1 から step3 まで一通り実施できたので、その経験を来期に生かしたい。一方、オンラインでの情報発信にも務め、関東地方でのナラ枯れ拡大に伴う里山保全方針を見直す必要性について問題提起したほか、初心者向けに森の見方を伝える動画の制作も試みた。

| 実施日 | 実施場所 | タイトル | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|---|---|
| 9/21（月祝） | オンライン | オンライン観察会を自分で試してみる実践ワークショップ（講師：志賀壮史さん） | 21 | 4 |
| 10/16（金）<br>11/22（土） | 川井緑地 | 森づくり活動レベルアップ研修 Step2 審査会<br>～折れ曲がり線とツル（講師：高澤愛さん） | 9 | 3 |
| 2/28（日）<br>3/7（日）<br>3/14（日） | フォーラム南太田<br>川井緑地 | 森づくり活動レベルアップ研修 Step2<br>～ロープワークと牽引システム<br>（講師：島村雅英、高澤愛さん） | 7 | 2 |
| 4/29（木） | フォーラム南太田 | 森づくり活動レベルアップ研修 step3 | 5 | 3 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5/1（土）<br>5/2（日）<br>6/26（土） | 川井緑地 | ～手道具とロープで安全に木を倒す方法<br>（講師：塚本秀貴さん） | | |
| 5/8（土）<br>5/15（土） | 川井緑地 | 森づくり活動レベルアップ研修 step1<br>～手道具の扱い方（講師：松井一郎さん） | 12 | 4 |
| 5/24（月）<br>5/31（月） | オンライン | 学習会「関東でもナラ枯れ拡大！2020 年代における森林・里山マネジメントのゆくえ」<br>（講師：奥敬一さん、倉本宣さん） | 90 | 3 |
| | | | 144 | 19 |

２．ノラ事業

１）森と畑と音楽と

丹沢東麗に位置する厚木市の里山における活動で、2014 年にスタートし今期で 7 年目を迎えた。活動の目的は農地管理が第一だが、参加者を増やすために「自然の中での様々な活動を通じて幅広い年齢層・異分野の人々が集い、有機的に結びつく空間の創造」を目標として、この土地に多くの人が関心を持ち、活動に来ることが楽しいと思える活動をおこない、持続するシステムをつくりたいと考えている。

第 21 期の特徴は、3 点挙げられる。

①畑：耕耘だけではなく畝立も機械でおこなうことにより、作付けの省力化を図った。また、県内在住の家族に声をかけ、ジャガイモ収穫作業等に参加してもらうなど、体験の場を提供した。

②水田：米づくりを始めて 5 年目を迎えた。昨年導入した紙マルチを今期も導入したが、100 巻のマルチを 10 数m毎に切り、巻き直す作業および植え付けラインを紙に書くシステムを作り省力化をおこなった。このため、糸を張ったり定規をあてたりする必要がなくなった。

③イベント：新型コロナウィルス感染拡大防止のため、イベントの中止が相次ぎ出展できなかった。まん延防止措置対象地域となったため田植え体験は実施できず、スタッフのみで田植えをおこなった。第 21 期の活動日は計 41 日（16 期 77 日→17 期 72 日→18 期 63 日→19 期 37 日→20 期 56 日）で、月平均 3～4 日のペースで活動をおこなった。ここ数年スタッフの疲弊を考慮して効率的に作業をおこなってきたが、昨期よりもさらに活動日数を減らした。これは、作業や準備にかかる労力を削減したことと、コロナ禍で人をたくさん集めるイベントを実施しにくかったことが影響をしていた。のべ参加人数は 246 名（16 期 494 名→17 期 367 名→18 期 281 名→19 期 258 名→20 期 326 名）となった。近年、参加者数は減少傾向にあるが、今期はコロナ禍の状況で、体験イベントで集客しにくい状況であったこと、マーケットや収穫祭などのイベントの中止による影響が大きかった。昨期からの反省点であった、ミニコンサートなどの楽しめるイベントや他者と交流できる機会を開催しにくい状況ではあるが、資源を有効に活用した人集めをおこなっていきたい。

| 実施日 | | 回 | 活動内容 | 参加数 |
|---|---|---|---|---|
| 7 月 | 5(日)、12(日)、27(月) | 3 | 物置資材運搬、物置テント修理、物置組み立て、草刈り、田んぼ点検 | 8 |
| 8 月 | 11（火）、30（日）、 | 2 | 草刈り、草取り、耕耘、野菜収穫、田んぼ点検、BBQ、小中学生の農業体験受け入れ | 9 |
| 9 月 | 6（日）、13（日）、<br>19（土）、27（日） | 4 | 草刈り、収穫、耕耘、植え付け、田んぼ点検、BBQ、木工（机作り）、農業体験受け入れ（中学生 6 名、親子 2 名） | 26 |
| 10 月 | 11（日）、18（日）、 | 4 | 草刈り、野菜収穫、耕耘、種まき、BBQ、脱穀、 | 60 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 24（土）、25（日） | | 物置小屋作り、中学生農業体験受け入れ、稲刈りイベント（稲刈り、ハザカケ、脱穀）参加者 2 日間で 52 人 | |
| 11 月 | 1（日）、8（日）、23（日）、29（土） | 4 | お米のタグ作り、稲ワラ運搬、籾摺り・精米、耕耘、マルチ張り、植え付け、野菜収穫、BBQ、草刈り、木工（食器棚作り） | 17 |
| 12 月 | 6（日）、20（日）、27（日） | 3 | 野菜収穫、耕耘、BBQ、トイドローンによる空中撮影、薪割り、籾摺り、小学生自然体験（川の探検） | 20 |
| 1 月 | 10（日） | 1 | 野菜収穫 | 2 |
| 2 月 | 7（日）、14（日）、21（日）、23（火）、28（日） | 5 | 耕耘、畝立て、ジャガイモ植え付け、麦播き、野菜収穫、田んぼの畦や水口の修繕、草刈り、クラフト（木のキーホルダー）、ハチの巣駆除 | 18 |
| 3 月 | 7（日）、28（日） | 2 | 段を降りるハシゴ作り、耕耘、野菜収穫、種蒔き、ベンチ作り | 5 |
| 4 月 | 11（日）、18（日）、24（土）、26（日） | 4 | 野菜収穫、草刈り、耕耘、畝立て、マルチ張り、苗植え付け、クサイチゴ摘み | 10 |
| 5 月 | 2（日）、3（月）、4（火）9（日）、22（土）、30（日） | 5 | 用水路清掃、畦草刈り、畑草刈り、耕耘、畝立て、サツマイモ植え付け、野菜種蒔き、クサイチゴ摘み、小学生クラフト体験（スプーン・箸作り）参加者 5 名、小学生農作業体験（ジャガイモ掘り）参加者 5 名、ズッキーニ植付、田んぼ耕耘、ニンニク収穫、ジャガイモ選別、桑の実採取、野菜収穫、ネギ植え付け | 25 |
| 6 月 | 6（日）、13（日）、20（日）、26（土） | 4 | 野菜の収穫、草刈り、水の引き込み、代掻き、畑耕耘、マルチ敷き、BBQ、ピザ作り、田植え体験イベント（高校生・大学生 12 名、親子 14 名・スタッフ 4 名）、NORA サロン 10 名 | 46 |
| | | 41 | | 246 |

*持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営*

３．ムラ事業

１）はまどまプロジェクト

「はまどま」発足後、2021 年 6 月で丸 13 年が経過した。街なかの里山の入り口、里山を暮らしにいかす実践の場として多様な企画を実現してきた。地域の皆さんの暮らしに役立つ場としても、宮宿花 1・2 丁目町内会、蒔田公園愛護会、大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなぁど」実行委員会などに参加し、信頼関係を積み重ねてきた。しかし、2020 年 3 月から新型コロナウィルスの感染拡大、政府からの諸活動の自粛要請により「はまどま」での活動の多くは休止することとなった。活動を再開するさいには新型コロナウィルス感染予防ガイドラインを作成し、活動を縮小して続けてきた。

（1） NORA 野菜市

毎週火曜日 17～19 時、大和ビル駐車場にて、神奈川県内・生産者限定の野菜市として開催し、2020 年暮れに丸 16 年を迎えた。2019 年の日本の食糧自給率はカロリーベースで 38%と、国が目標とする 2030 年の 45%にはほど遠い。国連は、将来にわたって持続可能な農業は、世界の食糧生産の 8 割を担う家族農業であると「家族農業の 10 年」（2019～28 年）を策定した。生鮮野菜・果物は、調理済みの購

入が増える傾向にあり、その中で輸入野菜が使われる可能性が高い。それでも、近年の NORA 野菜市は子育て家庭の利用が増加している。新型コロナウィルス感染拡大の中でも、生活に必要な物資を供給する立場で、感染予防を心がけて生産者とともに野菜市を継続できた。

2021 年 4 月 16 日から担当者の体調不良により野菜市は休止している。2021 年 10 月以降の再開を目指すが、再開にあたっては後継者育成と事業継続を課題に取り組んでいきたい。2021 年 5 月に農林水産省が発表した「みどりの食料システム戦略」への対応が重要になっている。

（2） 生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会

2005 年 12 月から、ほぼ毎月 1 回定例開催を続けてきたが、新型コロナウィルス感染拡大によって休止・再開後、再び休止が続いている。第 21 期の参加者数はのべ 18 名（昨期 53 名）だった。

| 回 | 実施日 | 内容 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 30 | 9/5（土） | 落花生、ポテトかぼちゃサラダ、そうめん南瓜トマトスープ | 8 |
| 31 | 10/3（土） | しいたけ炊き込み御飯、茄子煮浸し、里芋グリル | 4 |
| 32 | 10/5（月） | 白菜ロール豚バラ肉、柿と大根サラダ、はやとウリ新生姜甘酢 | 6 |
| | | | 18 |

（3） もったいないから竹細工

里山では手入れされない竹林が生い茂り、邪魔物として扱われている。かつて有用だった竹を生かせないのはもったいないので、竹林整備の際に出てくる竹材を有効に生かすために竹細工を製作している。毎月第 2 土曜日開催の竹かご教室では、講師に指導を受けながら全 10 回で六つ目編みを基本とした竹かご 5 作品をつくる。第 1 水曜・第 3 木曜・第 4 月曜・第 4 土曜日開催の竹細工工房では、竹かごを編むための竹ひごの準備のほか、竹へら・菜箸・パスタフォークなど（カトラリー）、さまざまな食器もつくっている。いちねん坊主工房では、竹かご教室で学ばない嗜好性の高い作品を作る。

第 21 期では、コロナ禍の影響により参加者の定員を半数に抑えているために、どの日程も申込み者が多くキャンセル待ちが増加した。参加者数は、竹かご教室のべ 95 名（昨期 141 名）で、いちねん坊主工房はのべ 10 名（コロナ対策のため 2020 年 10 月以降中止）、竹細工工房はのべ 448 名（昨期 417 名）、合計のべ参加者数は 553 名（昨期 603 名）となり、その内の入会者数は 56 名だった。

【竹かご教室】

| 実施日 | 活動内容 | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|---|
| 7/11（土） | 竹かご作り | 5 | 3 |
| 8/8（土） | 竹かご作り | 4 | 2 |
| 9/12（土） | 竹かご作り | 6 | 3 |
| 10/10（土） | 竹かご作り | 5 | 2 |
| 11/14（土） | 竹かご作り | 6 | 2 |
| 12/12（土） | 竹かご作り | 5 | 2 |
| 1/9（土） | 竹かご作り | 6 | 2 |
| 2/13（土） | 竹かご作り | 8 | 2 |
| 3/13（土） | 竹かご作り | 6 | 2 |
| 4/10（土） | 竹かご作り | 6 | 2 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5/8（土） | 竹かご作り | 6 | 2 |
| 6/12（土） | 竹かご作り | 6 | 2 |
| | | 69 | 26 |

【竹細工工房】

| 実施日 | 参加者 | スタッフ | 実施日 | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|---|---|---|
| 7/1（水） | 5 | 2 | 1/6（水） | 8 | 3 |
| 7/16（木） | 9 | 3 | 1/21（木） | 5 | 3 |
| 7/25（土） | 9 | 3 | 1/23（土） | 5 | 3 |
| 7/27（月） | 5 | 1 | 1/25（月） | 4 | 3 |
| 8/5（水） | 5 | 3 | 2/3（水） | 8 | 3 |
| 8/20（木） | 8 | 3 | 2/18（木） | 6 | 3 |
| 8/22（土） | 7 | 3 | 2/22（月） | 8 | 3 |
| 8/24（月） | 5 | 1 | 2/27（土） | 5 | 3 |
| 9/2（水） | 8 | 3 | 3/3（水） | 8 | 3 |
| 9/17（木） | 7 | 3 | 3/18（木） | 8 | 3 |
| 9/26（土） | 9 | 3 | 3/22（月） | 8 | 3 |
| 9/28（月） | 7 | 1 | 3/27（土） | 9 | 3 |
| 10/7（水） | 8 | 3 | 4/7（水） | 9 | 3 |
| 10/15（木） | 9 | 3 | 4/15（木） | 8 | 3 |
| 10/24（土） | 7 | 3 | 4/24（土） | 9 | 3 |
| 10/26（月） | 3 | 3 | 4/26（月） | 7 | 3 |
| 11/4（水） | 8 | 3 | 5/5（水祝） | 8 | 3 |
| 11/19（木） | 8 | 3 | 5/20（木） | 8 | 3 |
| 11/23（月） | 8 | 3 | 5/22（土） | 10 | 3 |
| 11/28（土） | 6 | 3 | 5/24（月） | 6 | 3 |
| 12/2（水） | 8 | 3 | 6/2（水） | 9 | 3 |
| 12/17（木） | 7 | 3 | 6/17（木） | 9 | 3 |
| 12/26（土） | 8 | 3 | 6/26（月） | 10 | 3 |
| 12/28（月） | 7 | 3 | 6/28（土） | 9 | 3 |
| | | | | 355 | 137 |

【いちねん坊主工房】

| 実施日 | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|
| 7/11（土）、8/8（土）、9/12（土） | 6 | 4 |

（4）　はまどまで土間仕事

今期も川口糀店を招いて味噌作りを開催した。例年と異なり多人数での開催はできなかったが、ネットで「味噌づくり」を検索して申し込み、「はまどま」に初めて足を運ばれた参加者もあった。川口さんからも「今後も続けていきましょう」とお声がけいただいたので、引き続き開催していく。

| 実施日 | 内　容 | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|---|
| 5/16（日） | 川口糀店さんと味噌作り～大豆&米糀 | 9 | 1 |
| 6/19（土） | 柏木さんの梅で気楽に気軽に梅干しを仕込もう | 8 | 1 |
| | | 17 | 2 |

（5）　里山の恵み・伝統文化と出会う上映会（共催：郷土映像ラボラトリー）

民族文化映像研究所に約 130 本ある記録映画を中心とした上映会で、「郷土映像ラボラトリー」（中川美帆さん主宰）との共催による。2020 年 3 月以降、コロナ禍により休止が続いた。

（6）　NORA サロン

2020 年に NORA が設立 20 周年を迎えることから、2019 年 12 月からシリーズ「NORA びとが語る NORA サロン」を開催した。約 2 か月に 1 回、理事が持ち回りで話題提供する NORA サロンで、その場の議論を中長期計画に生かしたい。

| 実施日 | 実施場所 | タイトル | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 8/29（土） | はまどま | 「公害・環境問題を振り返り、2030 年に向けた取り組みを考える」（話題提供：島村雅英） | 10 |
| 12/11（水） | はまどま＋オンライン | 「生産者と利用者のコミュニケーションを再び」（対談：小沢和義さん×三好豊） | 15 |
| 1/25（土） | はまどま＋オンライン | 「横浜のみどり　あの森は今」（対談：六浦勉さん×中林博志） | 16 |
| 6/27（土） | 厚木市七沢＋オンライン | 「里山に関わる多様な”市民”～それぞれの立場でのニーズと強み」（話題提供：中川欅） | 14 |
| | | | 55 |

（7）　『食べもの通信』読者会

1970 年創刊の『食べもの通信』（家庭栄養研究会編集）は、2020 年に創刊 50 周年を迎えた月刊情報誌である。さまざまな情報が溢れる中で、信頼度の高い新しい情報を学び合い、経験や考えを分かち合う場を作りたいと考え、2019 年 11 月から読者会を開始した。2020 年 8 月からコロナ禍に対応してリモートを併用したことで、本誌編集部や岡山・宮崎からも参加者を得られた。本誌編集部主催のリモート読者会や食べもの通信社主催のリモート学習会への参加、全国の読者メーリングリストにも加わり、『たべもの通信』を軸にした活動が広がった。

| 回 | 実施日 | 内　容 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 5 | 7 /13（月） | 米の家庭消費減少、外食・中食需要拡大 | 3 |
| 6 | 8/3（月） | コロナ情報、マスク貧困、国内生産の重要さ | 7 |
| 7 | 9/14（月） | 超加工食品、コンビニ食品の添加物、塩分過多 | 6 |
| 8 | 10/12（月） | 化学繊維、衣類の洗濯、匂いの害、シンプルな食 | 4 |
| 9 | 11/9（月） | プラゴミ、使い捨てマスク、学校給食 | 8 |
| 10 | 12/14（月） | 読者会の効果、先輩の話が参考に・考える場に | 5 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 11 | 1/11（月） | 学校給食の食材、病院給食の食材 | 6 |
| 12 | 2/8（月） | 変化を求めて家庭料理がいやになる | 5 |
| 13 | 3/8（月） | アニマルウェルフェア、身近にいた家畜 | 6 |
| 14 | 4/12（月） | キューバレポート、家族の健康食事から | 6 |
| 15 | 5/10（月） | 生産者が確かな野菜のおいしさ、調味料少々で | 6 |
| 16 | 6/14（月） | 日常の心がけ、硬い食材、噛むことの大切さ | 8 |
| | | | 70 |

（8）　はまどま諸々

会員が主体的に得意なことを教えたり、興味のあることを参加者と学び合ったりする活動である。

①季節の素材でワンプレートメイキング（山本美香会員）

コロナの影響により、今期は開催を見送った。ある程度世の中に落ち着きが見えてきてから、今のところ、2021 年のクリスマス頃の再開を予定している。

②お香のてならい（粕谷恵会員）

今期から金曜日に加えて月に 1 度水曜日も開催日を設けた。講師は大和ビルから転居したが、今後も引き続き開催する予定。

| 実施日 | 内　容 | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|---|
| 10/9（金） | 匂い袋 | 1 | 1 |
| 10/16（金） | 練香 | 1 | 1 |
| 11/6（金） | 匂い袋 | 1 | 1 |
| 1/29（金） | お線香 | 1 | 1 |
| 5/14（金） | コーン型お線香 | 1 | 1 |
| 6/16（水） | 匂い袋 | 1 | 1 |
| | | 6 | 6 |

③心も体も元気に季節の薬膳食事会（内倉和子会員）

コロナの影響により、今期は開催を見送った。今後は、あらためて神奈川野菜に特化することで、ほかの薬膳教室などとの差別化を図っていく。

④はぶすぱラボ（三浦まきこ会員）

2020 年 12 月開設の新講座。古代より薬用・飲食用としてはもちろん、園芸、装飾、厄除けや身を清めるための素材としても長く使われてきたハーブやスパイスについて、参加者が互いに知恵や知識を共有できる交流の場・研究できる場として毎月第 2 日曜日に講座を開催。季節に合わせたテーマを決めて実施している。2021 年 5 月からは川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）の一角に設けられた花壇でハーブやスパイスの植栽管理が始まり、講座や活動イベント等で活用している。第 21 期は、のべ 52 名の方にご参加いただいた。

| 実施日 | 内　容 | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|---|
| 12/13（日） | お屠蘇作り | 5 | 3 |
| 1/10（日） | ハーブソルト作り | 7 | 3 |
| 2/14（日） | 大人のスパイスチョコフォンデュ | 5 | 3 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 3/14（日） | ハーブ酢でお寿司 | 8 | 3 |
| 4/11（日） | 四季折々のハーブティブレンドレッスン（春） | 4 | 3 |
| 5/9（日） | スパイスふりかけ×羽釜ご飯 | 4 | 3 |
| 5/30（日） | アウトドアクッキング＆森林ウォーク | 14 | 3 |
| 6/13（日） | クラフトコーラ作り | 5 | 2 |
| | | 52 | 23 |

2）はまどま改革（横浜市市民活動推進基金（よこはま夢ファンド））

2018 年 2 月、「街なかの里山の入り口」としての機能を高めるために「はまどま寄り合い会議」を設置して地域の方々から意見を伺い、さらに「よこはま夢ファンド」を通した寄付金を活用して、2020 年 3 月までに内装改修と備品更新を実現できた。同年 8 月には、運営の仕組みを段階的に整備していくためにコーディネーター業務を開始した。

10 月 5 日（月）、「街なかの里山あそび」として「はまどまオープン」を試験的に再開するも、新型コロナウィルス感染症の影響から、その後の定期開催は休止とした。11 月 26 日（土）には、「はまどまリニューアルお披露目会」を開催し、『タウンニュース』南区ウェブ版のニューストップに掲載された。

コロナ禍のため地域との連携を深めることが難しいなか、地域への開き方について再考するとともに、はまどまプロジェクトの運営、利用時の決まりごとの確認・整理、利用マニュアルの作成などを進めた。また、新規はまどまプロジェクトのサポートや SNS の試験的運用などもおこなった。

3）地域連携

・横浜市南区内の 3 か所の「こども食堂」に、生産者から無料提供をお願いした作物を提供。保存できない生鮮農産物は、味や栄養の点でも貴重である。「こども食堂」は再開の見通しが立たないが、テイクアウトの販売、南区からの食品支援などに合わせて農産物支援をおこなった。新しい試みとして、支援農産物を中心とした 100 円野菜セットや規格外品の格安販売に購入協力をいただき、10 万円近くを農産物提供資金として活用した。支援先は子ども食堂のほかに学生支援団体も加えた。

・10/25（日）、宮宿花 1・2 丁目町内会主催「ハロウィンパーティー」に参加。蒔田公園エコサロンで受付を済ませた子供たちは町内有志店舗などを回り、町内会が用意したお菓子をもらう。NORA では、コロナ感染を考慮し「はまどま」の入り口前で対応した。年々、参加家族が増えていると感じる。「はまどま」を町内の若い世代に親しんでもらう取組みである。

4）ネットワーク

（1） まいたエコサロンの会

地域の環境活動拠点として横浜市と構成団体が協働して運営に関わっている。第 21 期は、運営委員として引き続き参加した。

（2） 横浜コミュニティカフェネットワーク（YCCN）

コロナ禍だからこそ人との繋がりを大切にしたい思いから、手探りで開けているコミュニティカフェの声を聞いた。人と人が集う場所、対面で安心して話せる場所がいかに大事かを実感した。

4．ハレ事業

1）伊勢佐木町地モノ市

新型コロナウィルス感染拡大を機にイベントは終了となり、2019 年の参加が最後になった。長年に渡わたる商店街関係者の皆さん、NORA 会員・有志の皆さんのご支援に深く感謝するものである。

２）設立 20 周年記念事業

「リアルな活動を Web 動画で伝えるオンライン・ワークショップ～コンテンツを考え、映像を撮影・編集し、ネット配信するまでの 5 日間」を通して、プロジェクト紹介動画の 1 つとして「NORA の山仕事」を作成した。

12 月 19 日（土）にいはる里山交流センター旧奥津邸でおこなった「NORA 設立 20 周年記念 Choji×吉武美保子里山スペシャルトーク＆ライブ」の様子を動画にまとめた。翌 12 月 20 日（日）には「NORA 二十歳のお祝い」をハイフレックス（はまどまとオンライン）方式で開催し、当日参加 16 名、メッセージ参加を含めると 27 名の声を集めることができた。

ただし、第 21 期中に実施できた活動が少なかったので、来期も 20 周年事業を継続して実施する。

*里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信*

５．イキモノ事業

１）旬の里山探訪

毎月第 1 水曜日（1 月・8 月は休み）、NPO 法人新治里山「わ」を広げる会の新治里山公園運営プロジェクト（実施主体は、自然観察／インタープリテーション部会）が「にいはる里山交流センター」で実施しているイベントへ広報協力をおこなっていたが、新型コロナウィルス感染拡大防止のためイベント自粛となり、再開後は定員減、開催も不安定だったため、その後は広報をおこなわなかった。

| 実施日 | 内容 | 参加者 | スタッフ |
|---|---|---|---|
| 7/1（水） | おんばく・へぼそを訪ねて | 中止 | |
| 9/2（水） | とんぼのかんさつ | 10 | 4 |
| 10/7（水） | スタッフ研修：小さいものを密にならずに観察会をするには（キノコを例に） | 0 | 12 |
| 11/4（水） | 木の実・草の実 | 14 | 4 |
| 12/2（水） | やまんめ山ひとまわり | 12 | 4 |
| 2/3（水） | 三保市民の森歩き | 13 | 10 |
| 3/3（水） | 雑木林の樹木 8 種だけ観察 | 15 | 3 |
| 4/7（水） | 新治市民の森の頂ひとまわり | 13 | 3 |
| 5/5（水） | しぜんはっけんビンゴ | 13 | 3 |
| 6/2（水） | カエルの声とりの声 | 15 | 3 |
| | | 105 | 46 |

２）トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

2003 年に活動を開始した当フォーラムは、京浜臨海部において生物多様性に配慮した緑地の質の向上を目的に企業・市民団体・行政・専門家が参加する集まりで、NORA は 2015 年 1 月から参加している。第 21 期は、夏のトンボ調査等に参加したほか、本牧市民公園、根岸森林公園、富岡総合公園、長浜公園において 6 月～10 月にかけて指定管理者が主催する「トンボとり大作戦」の運営を担った。「トンボとり大作戦」への参加者数とマーキングされたトンボの数は下表のとおりである。

調査場所毎の参加者数

| 調査場所 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 本牧市民公園 | ☆ | ☆ | 13 | 18 | ☆ | 31 |
| 根岸森林公園 | ☆ | ☆ | 20 | 38 | 53 | 111 |

捕獲・マーキングされたトンボの数

| 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 6 | 53 | 13 | 1 | 79 |
| 6 | 12 | 46 | 47 | 21 | 132 |

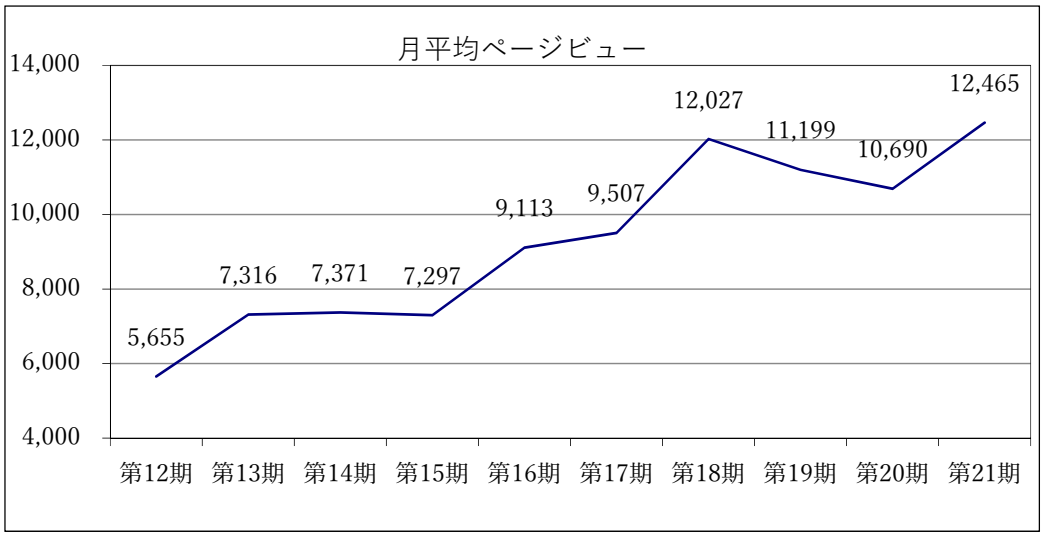
| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 富岡総合公園 | ☆ | 14 | 22 | ☆ | 17 | 53 | 4 | 13 | 35 | 13 | 30 | 95 |
| 長浜公園 | ☆ | 14 | ☆ | 16 | ☆ | 30 | 18 | 21 | 22 | 50 | 8 | 119 |
| 合　計 | | 28 | 55 | 72 | 70 | 225 | 34 | 52 | 156 | 123 | 60 | 425 |

※6 月は第 20 期、☆はスタッフのみで調査実施

## ６．広報事業

### １）ウェブサイトの更新

第 21 期も、イベントの告知・報告記事など情報発信を定期的におこなった。月平均ページビューは 12,465（第 18 期 12,027→第 19 期 11,199→第 20 期 10,690）で、里山ガーデンの影響を強く受けた第 18 期の閲覧頁数を越えた。コロナ禍における自然体験ニーズの高まりが要因と思われるが、Instagram による情報発信の強化、メルマガの HTML 化などによる影響も考えられる。また、セキュリティ向上のために常時 SSL 対応（https 化）をおこなったほか、訪問者のクリック行動を誘導するために、SNS のボタン設置、トップページにある「今月の予定」のバナー設置などの改善を図った。




### ２）「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

原則、毎月 1 日に「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を配信した（第 146～157 号）。第 21 期末の時点で、NORA から直接配信している数が 2,245、メルマガ発行サービス「まぐまぐ！」からは 248、合計で 2,493 アドレスに配信している。日別サイト訪問数は配信後に急増することから、メールマガジンは依然として重要な広報媒体となっている。なお、2020 年 9 月配信の 148 号から HTML 化を実施し、毎号、季節感のある写真と色調で読者に届けている。

### ３）ソーシャルメディアによる情報発信

第 21 期末の SNS のフォロワーは、Facebook が 1,671（第 18 期 1,116→第 19 期 1,320→第 20 期 1,528）、Twitter は 545（第 17 期 499→第 18 期 507→第 19 期 514→第 20 期 527）と緩やかに増加した。Instagram による情報発信に努めた結果、フォロワー数は 521（昨期 74）に急増した。

### ４）年間報告書の作成

「2020 年活動報告」（A4、三つ折り）を作成し、会員・会友へ配布した。設立 20 周年企画 NORA サロンを中心に自主事業等 1 年間の活動を紙面で報告するとともに、年越し前に年会費振込みを促した。

## 協働・受託事業

*里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等*

1）保育所・小中学校等ビオトープ整備のアドバイザー派遣（横浜市環境創造局みどりアップ推進課）

<実施期間：2020 年 4 月～2021 年 2 月、2021 年 4 月～2022 年 3 月>

2020 年度は、当該事業でビオトープ整備を実施した小学校 18 校に対してフォローアップをおこない、ビオトープの維持管理・活用方法、ビオトープ整備方法等について指導した。また、新規にビオトープ整備をおこなった小学校 9 校（新規 6 校、継続 3 校）を訪問し、ビオトープ整備にかかる計画づくり、整備方法等について助言をおこなった。2021 年度も引き続き、市内小学校等に対してビオトープ整備に関する助言を実施する。

2）長浜公園トンボ池等管理業務（公益財団法人 横浜市緑の協会）

<実施期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月、2021 年 4 月～2021 年 3 月>

2020 年度は、長浜公園（横浜市金沢区）のトンボ池、水田等において、市民を対象とした環境啓発、生物の生息空間の保全・創造のためのトンボ池等の日常管理をおこなった。併せて、長浜公園と富岡総合公園でトンボ取り大作戦の運営をおこなった。2021 年度は、引き続き、トンボ池や水田の適正管理、啓発事業として田植え体験や小学校の授業でのヤゴ救出の実施、「トンボとり大作戦」をとおした生き物調査などをおこなっている。

3）野島公園ビオトープ水路環境調査（公益財団法人 横浜市緑の協会）

<実施期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月、2021 年 4 月～2022 年 3 月>

2020 年度は、観音崎博物館が実施する水生生物調査と連携したビオトープ池の環境管理を実施した。2021 年度は、引き続きビオトープ池の管理を実施する。

4）本牧市民公園、根岸森林公園トンボとり大作戦開催業務（横浜植木株式会社）

<実施期間：2020 年 6 月～202 年 10 月、2021 年 6 月～2021 年 10 月>

子どもたちにトンボとりを体験してもらい、くらしと街中での生きものとのつながりを認識してもらうため、本牧市民公園と根岸森林公園で毎月 1 回トンボとり大作戦の運営を実施する。

5）森づくりボランティア派遣及び体験事業業務委託（横浜市環境創造局みどりアップ推進課）

<実施期間：2020 年 6 月～2021 年 3 月、2021 年 4 月～2022 年 3 月>

森を育む人材育成事業に登録された森づくりボランティアの活動推進と既存の活動団体の活性化を目的に、森づくり活動団体の活動へ森づくりボランティアが参加する「森づくり体験会」の企画、運営、参加者指導等の業務を実施した。

| 回 | 開催日 | 開催場所 | 森づくり活動団体<br>（受入れ団体） | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9/26（土） | 鯉ケ久保ふれあいの樹林 | 鯉ケ久保ふれあいの樹林愛護会 | 8 |
| 2 | 10/3（土） | 上川井市民の森 | ― | 9 |
| 3 | 10/10（土） | まさかりが淵市民の森 | みどりの学校 | 雨天中止 |
| 4 | 11/15（日） | 上矢部ふれあいの樹林 | 上矢部ふれあいの樹林森愛護会 | 10 |
| 5 | 11/28（土） | 鴨居原市民の森 | 鴨居原市民の森愛護会 | 18 |
| 6 | 12/13（日） | 陣ケ下渓谷公園 | 陣ケ下自然愛好会 | 11 |
| 7 | 12/27（日） | まさかりが淵市民の森 | みどりの学校 | 11 |
| 8 | 1/23（土） | 池辺市民の森 | 池辺市民の森愛護会 | コロナ禍により中止 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 9 | 1/30（土） | 宮沢ふれあい樹林 | 宮沢の森愛護会 | 8 |
| 10 | 2/11（祝） | 谷矢部池公園 | わかぎの会 | コロナ禍により中止 |

６）旧川合玉堂別邸（二松庵）庭園森づくりボランティア体験会（金沢区区政推進課）
<実施期間：2021 年 2 月 20 日

18 歳以上の市民を対象とし、旧川合玉堂別邸（二松庵）庭園敷地内で、管理作業（落枝拾い、落ち葉掻き、草刈り、除伐、間伐等）の実施にあたり、必要な実施計画の作成、準備、広報資料の作成、当日のボランティア体験会の運営をおこなった。参加者は、ボランティア 13 名、金沢区区政推進課 2 名、NORA スタッフ 3 名であった。

６）Green Gift 地球元気プログラム（NPO 法人日本 NPO センター、東京海上日動火災保険株式会社）
<実施期間：2019 年 10 月～2020 年 9 月、2020 年 10 月～2021 年 9 月>

東京海上日動火災（株）が全国展開している環境保全活動の神奈川県版を企画運営している。2016 年年から小松・城北地区の里山を活動場所として、「小松・城北」里山をまもる会、一般社団法人まちやま、関東 EPO、神奈川県、相模原市と連携し、親子向けの環境教育プログラムを実施してきた。しかし、2020 年夏に実施予定だったプログラムはコロナの影響で開催できず、代替事業としてこれまでの活動とこの地域の自然や文化を紹介するウェブサイト「城山コネクト in 神奈川相模原」を制作した。

## 委員・講師派遣等

１）委員

〇松村正治
- 横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会長
- 横浜市地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事業部会専門委員
- 公益社団法人国土緑化推進機構「国民参加の森林づくり総合推進事業」検討委員
- 茨城県営業戦略部「大規模緑地ワーキンググループ」検討委員

〇吉武美保子
- 神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会
- 横浜市市民協働推進センター事業部会　※新治里山「わ」を広げる会の肩書で

２）講師・執筆

〇島村雅英
- 横浜市環境創造局出前講座「ビオトープで小さな生態系を感じてみよう」を 22 回、のべ 860 名の児童に対して開催した。

| 回 | 実施日 | 学校名 | 対象 | 人数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 8/27（木） | 駒岡小学校 | 3 年 | 33 |
| 2 | 9/11（金） | 白幡小学校 | 環境委員会 | 16 |
| 3 | 9/14（月） | 大岡小学校 | 6 年 | 27 |
| 4 | 9/16（水） | 鶴見小学校 | 4 年 | 39 |
| 5 | 10/5（月） | 奈良の丘小学校 | 5 年 | 73 |
| 6 | 10/22（木） | 市ヶ尾小学校 | 6 年 | 29 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 11/5（木） | 新鶴見小学校 | 4 年 | 33 |
| 8 | 11/9（月） | 日野南小学校 | 6 年 | 32 |
| 9 | 11/10（火） | 寺尾小学校 | 3 年 | 37 |
| | | | ビオトープ委員会 | 22 |
| 10 | 11/26（木） | 吉原小学校 | 5 年 | 38 |
| 11 | 12/21（月） | 一本松小学校 | 5 年 | 27 |
| 12 | 1/14（木） | 野庭すずかけ小学校 | 6 年 | 26 |
| 13 | 1/14（木） | 港北小学校 | 環境委員会 | 32 |
| 14 | 1/15（金） | 黒須田小学校 | 4 年 | 36 |
| 15 | 1/19（火） | 寺尾小学校 | 3 年生 | 37 |
| 16 | 2/16（火） | 下野庭小学校 | 4 年 | 10 |
| 17 | 3/4（木） | 美しが丘東小学校 | 情報・環境委員会 | 17 |
| 18 | 5/20（木） | 東希望が丘小学校 | 5 年 | 33 |
| 19 | 5/26（水） | 中山小学校 | 5 年 | 105 |
| 20 | 5/26（水） | 黒須田小学校 | 4 年、5 年 | 90 |
| 21 | 6/28（月） | 初音ヶ丘小学校 | 3 年 | 30 |
| 22 | 6/30（水） | 鶴見小学校 | 5 年 | 38 |
| | | | | 860 |

〇松村正治

・12/4（金）（一社）かながわ地域振興会主催事業（山北町立生涯学習センター）公園

・3/5（金）里山ミライ拠点化計画連続トークセッション第 2 回「新・里山時代の幕開け」話題提供

・『地域人』62 号（ポスト成長社会の地域と経済)』に取材記事「ボランティアによる保全からビジネス活用への転換を｜里山経済」掲載

・『週刊教育資料』1715 号に取材記事「里山とかかわる暮らしを」掲載

| | プロジェクト | 第11期<br>2010.7-2011.6 | 第12期<br>2011.7-2012.6 | 第13期<br>2012.7-2013.6 | 第14期<br>2013.7-2014.6 | 第15期<br>2014.7-2015.6 | 第16期<br>2015.7-2016.6 | 第17期<br>2016.7-2017.6 | 第18期<br>2017.7-2018.6 | 第19期<br>2018.7-2019.6 | 第20期<br>2019.7-2020.6 | 第21期<br>2020.7-2021.7 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ヤマ | NORAの山仕事 | 245 | 209 | 231 | 223 | 290 | 296 | 315 | 288 | 391 | 347 | 433 | 2015.7-やま守り編も |
| | 竹を活かす山仕事 | 5 | 21 | 26 | 36 | 67 | 84 | 94 | 99 | 124 | 65 | 80 | 2011.4- |
| | よこはま里山レンジャーズ | | | 182 | 153 | 96 | 169 | 81 | 48 | 63 | 75 | 66 | |
| | 里山保全を安全で楽しく | | | | | | | 40 | 40 | 49 | 125 | 163 | 2019.9-モリダス共催 |
| | 里山資源の活用 | | | | | | | | | | | 51 | |
| | 里山でシゴトづくり | | | | | | 129 | 98 | 177 | 165 | 41 | 28 | |
| ノラ | 休耕地再生で農体験 | 67 | 241 | 237 | 94 | | | | | | | | 2011.4-2014.3 |
| | ヨコハマで農業体験 | 14 | 18 | 42 | 7 | | | | | | | | 2011.4-2014.3 |
| | NORAの野良仕事 | 11 | 5 | 1 | 4 | | | | | | | | -2013.12 |
| | 森と畑と音楽と | | | | 101 | 320 | 494 | 367 | 281 | 258 | 326 | 246 | 2013.11- |
| ムラ | 神奈川野菜の食事会 | 273 | 197 | 195 | 164 | 103 | 95 | 38 | 73 | 62 | 53 | 18 | |
| | もったいないから竹細工① | 100 | 75 | 48 | 82 | 135 | 137 | 135 | 166 | 177 | 141 | 95 | 竹かご教室 |
| | もったいないから竹細工② | | 27 | 21 | 42 | 135 | 160 | 264 | 253 | 471 | 462 | 502 | 竹細工工房、いちねん坊主 |
| | 筆とお香 | 37 | 6 | 19 | 7 | 41 | | | | | | | 旧：野を描く→筆で描こう |
| | お話の会 | 24 | 110 | 42 | 20 | | | | | | | | 旧：朗読の夕べ |
| | 『食べもの通信』読者会 | | | | | | | | | | 32 | 70 | 2019.12- |
| | はまどまシアター（映画） | | | 8 | 27 | | 110 | 71 | 51 | 60 | 25 | 0 | 2013.6- |
| | はまどまで土間仕事 | | | | 27 | 27 | 135 | 66 | 64 | 26 | 32 | 19 | 2014.2- |
| | はまどま諸々（会員） | | | | | 24 | 130 | 118 | 61 | 47 | 61 | 87 | 旧：NORAの部活、手習い塾 |
| | はまどま諸々（非会員） | | | | | | | | 75 | 131 | 21 | 0 | |
| | NORAサロン・ライブ | | | | 51 | 69 | 38 | 0 | 70 | 48 | 56 | 55 | 2013.12復活 |
| | はまどまオープン | | | | | | | | | | 162 | | 2019.8- |
| | はまどまPJ計 | 434 | 415 | 333 | 420 | 534 | 805 | 692 | 813 | 1,022 | 1,045 | 846 | |
| イキモノ | 旬の里山探訪 | 60 | 29 | 106 | 148 | 198 | 167 | 176 | 184 | 191 | 127 | 105 | 外部スタッフ除く |
| | トンボとり大作戦 | | | | | | | 146 | 127 | 154 | 167 | 225 | 前期6月分を含む |
| | Green Gift | | | | | | | 79 | 101 | 84 | 51 | 0 | 外部スタッフ除く |
| ハレ | 竹細工ワークショップ | | | | | | | | 68 | 68 | | | |
| | 特別なハレ | | 125 | | 54 | | | 23 | 15 | | | 27 | |
| | 合計 | 836 | 1,063 | 1,158 | 1,240 | 1,505 | 2,144 | 2,111 | 2,241 | 2,569 | 2,369 | 2,270 | |
| | | | 10周年 | | TPP | | | 里山ｶﾞｰﾃﾞﾝ | 里山ｶﾞｰﾃﾞﾝ | | | 二十歳祝 | |
| | サイト訪問者数 | 1,686 | 1,732 | 2,271 | 2,650 | 2,762 | 2,770 | 3,342 | 4,707 | 3,511 | 3,727 | 4,259 | |
| | サイト閲覧頁数 | 6,260 | 5,655 | 7,316 | 7,371 | 7,297 | 9,113 | 9,507 | 12,027 | 11,199 | 10,690 | 12,465 | |
| | 直帰率 | 53.20 | 57.57 | 57.83 | 63.64 | 65.70 | 60.49 | 64.46 | 67.45 | 67.66 | 70.27 | 69.67 | （単位: %） |

第２号議案　第21期決算報告（2020年7月～2021年6月）

# 活　動　計　算　書

[税込]（単位：円）

特定非営利活動法人よこはま里山研究所　　自 2020年 7月 1日 至 2021年 6月30日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 【経常収益】 | | | |
| 【受取会費】 | | | |
| 運営会員受取会費 | 144,000 | | |
| 一般会員受取会費 | 367,000 | | |
| 賛助会員受取会費 | 10,000 | 521,000 | |
| 【受取寄付金】 | | | |
| 受取寄付金 | | 185,950 | |
| 【受取助成金等】 | | | |
| 受取助成金 | | 1,795,804 | |
| 【事業収益】 | | | |
| 自主事業収入 | 1,669,392 | | |
| 販売事業収入 | 0 | | |
| 受託事業収入 | 6,626,308 | 8,295,700 | |
| 【その他収益】 | | | |
| 受取　利息 | 100 | | |
| 雑　収　入 | 798,000 | 798,100 | |
| 経常収益 計 | | | 11,596,554 |
| 【経常費用】 | | | |
| 【事業費】 | | | |
| （人件費） | | | |
| 人件費計 | 0 | | |
| （その他経費） | | | |
| 業務委託費（事業） | 4,802,382 | | |
| 諸　謝　金（事業） | 2,000,127 | | |
| 印刷製本費（事業） | 14,487 | | |
| 会　議　費（事業） | 0 | | |
| 旅費交通費（事業） | 1,000 | | |
| 通信運搬費（事業） | 69,044 | | |
| 消耗品　費（事業） | 579,925 | | |
| 器具備品費（事業） | 0 | | |
| 修　繕　費（事業） | 0 | | |
| 賃 借 料（事業） | 112,680 | | |
| 減価償却費（事業） | 45,770 | | |
| 保　険　料（事業） | 106,672 | | |
| 調査研究費（事業） | 3,772 | | |
| 支払手数料（事業） | 20,263 | | |
| 広告宣伝費（事業） | 44,883 | | |
| 事業　仕入（事業） | 982,368 | | |
| 販売　仕入（事業） | 0 | | |
| その他経費計 | 8,783,373 | | |
| 事業費 計 | | 8,783,373 | |
| 【管理費】 | | | |
| （人件費） | | | |
| 人件費計 | 0 | | |
| （その他経費） | | | |
| 印刷製本費 | 2,013 | | |
| 業務委託費 | 100,000 | | |
| 通信運搬費 | 122,890 | | |
| 消耗品　費 | 7,630 | | |
| 水道光熱費 | 84,356 | | |
| 地代　家賃 | 991,980 | | |
| 諸　会　費 | 10,400 | | |
| 租税　公課 | 500 | | |
| 支払手数料 | 51,348 | | |
| 雑　　費 | 44,016 | | |
| その他経費計 | 1,415,133 | | |
| 管理費 計 | | 1,415,133 | |
| 経常費用 計 | | | 10,198,506 |
| 当期経常増減額 | | | 1,398,048 |
| 【経常外収益】 | | | |
| 経常外収益 計 | | | 0 |
| 【経常外費用】 | | | |
| 経常外費用 計 | | | 0 |
| 税引前当期正味財産増減額 | | | 1,398,048 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | | 74,500 |
| 当期正味財産増減額 | | | 1,323,548 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 13,573,835 |
| 次期繰越正味財産額 | | | 14,897,383 |

# 貸　借　対　照　表

特定非営利活動法人よこはま里山研究所　　[税込]（単位：円）
全事業所　　2021年 6月30日 現在

| 資　産　の　部 | | 負　債　・　正　味　財　産　の　部 | |
|---|---|---|---|
| 科　　目 | 金　額 | 科　　目 | 金　額 |
| 【流動資産】 | | 【流動負債】 | |
| （現金・預金） | | 未　払　金 | 139,600 |
| 現金 | 0 | 前　受　金 | 539,850 |
| 普通　預金 | 15,111,598 | 納税充当金 | 74,500 |
| 現金・預金 計 | 15,111,598 | 流動負債 計 | 753,950 |
| （売上債権） | | 負債合計 | 753,950 |
| 未　収　金 | 0 | 正　味　財　産　の　部 | |
| 売上債権 計 | 0 | 【正味財産】 | |
| （その他流動資産） | | 前期繰越正味財産額 | 13,573,835 |
| 立　替　金 | 0 | 当期正味財産増減額 | 1,323,548 |
| 前払　費用 | 122,100 | 正味財産　計 | 14,897,383 |
| その他流動資産 計 | 122,100 | 正味財産合計 | 14,897,383 |
| 流動資産合計 | 15,233,698 | | |
| 【固定資産】 | | | |
| （有形固定資産） | | | |
| 機械及び装置 | 102,055 | | |
| 有形固定資産 計 | 102,055 | | |
| （無形固定資産） | | | |
| 電話加入権 | 89,880 | | |
| 無形固定資産 計 | 89,880 | | |
| （投資その他の資産） | | | |
| 敷　　金 | 225,700 | | |
| 投資その他の資産 計 | 225,700 | | |
| 固定資産合計 | 417,635 | | |
| 資産合計 | 15,651,333 | 負債及び正味財産合計 | 15,651,333 |

# 財　産　目　録

特定非営利活動法人よこはま里山研究所　　［税込］（単位：円）
全事業所　　2021年 6月30日 現在

《資産の部》

| | | | |
|---|---|---|---|
| 【流動資産】 | | | |
| （現金・預金） | | | |
| 現金 | 0 | | |
| 普通　預金 | 15,111,598 | | |
| 横浜銀行（本部） | (8,895,853) | | |
| 横浜銀行（島村） | (1,600,058) | | |
| 横浜銀行（ヤマ） | (275,973) | | |
| 横浜銀行（吉武） | (72,198) | | |
| 横浜銀行（竹） | (201,000) | | |
| 横浜銀行（本部/松村） | (1,087,700) | | |
| 横浜銀行本郷台支店（本部） | (0) | | |
| ゆうちょ銀行宿町（どま） | (461,177) | | |
| ゆうちょ銀行振替（本部） | (2,517,639) | | |
| 現金・預金 計 | 15,111,598 | | |
| （売上債権） | | | |
| 未　収　金 | 0 | | |
| 売上債権 計 | 0 | | |
| （その他流動資産） | | | |
| 立　替　金 | 0 | | |
| 前払　費用 | 122,100 | | |
| その他流動資産 計 | 122,100 | | |
| 流動資産合計 | | 15,233,698 | |
| 【固定資産】 | | | |
| （有形固定資産） | | | |
| 機械及び装置 | 102,055 | | |
| 有形固定資産 計 | 102,055 | | |
| （無形固定資産） | | | |
| 電話加入権 | 89,880 | | |
| 無形固定資産 計 | 89,880 | | |
| （投資その他の資産） | | | |
| 敷　　金 | 225,700 | | |
| 投資その他の資産 計 | 225,700 | | |
| 固定資産合計 | | 417,635 | |
| 資産の部 合計 | | | 15,651,333 |

《負債の部》

| | | | |
|---|---|---|---|
| 【流動負債】 | | | |
| 未　払　金 | 139,600 | | |
| 前　受　金 | 539,850 | | |
| 納税充当金 | 74,500 | | |
| 流動負債 計 | | 753,950 | |
| 負債の部 合計 | | | 753,950 |
| 正味財産 | | | 14,897,383 |

# 監査報告書

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
理事長　松村正治 殿

第21期事業年度（2020年7月1日から2021年6月30日まで）の事業報告、活動計算書、貸借対照表、財産目録を監査した結果、法令や定款に則して適切に処理、記載されていることを認める。

以　上

2021年　8月　20日

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

監事　平石眞司

第21期（2020.7.1-2021.6.30)部門別集計表

| | 全事業所 | 事務局 | 広報 | ヤマ（合計） | 山仕事 | 里山シゴトづくり | 里山レンジャーズ | ヤマ販売 | ムラ | 受託 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 《経常増減の部》 | | | | | | | | | | |
| 【経常収益】 | | | | | | | | | | |
| 【受取会費】 | | | | | | | | | | |
| 運営会員受取会費 | 144,000 | 144,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般会員受取会費 | 367,000 | 367,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 賛助会員受取会費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受取会費　計 | 521,000 | 521,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【受取寄付金】 | | | | 0 | | | | | | |
| 受取寄付金 | 185,950 | 13,360 | 0 | 172,590 | 172,590 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受取寄付金　計 | 185,950 | 13,360 | 0 | 172,590 | 172,590 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【受取助成金等】 | | | | 0 | | | | | | |
| 受取助成金 | 1,795,804 | 0 | 0 | 1,025,804 | 480,000 | 545,804 | 0 | 0 | 770,000 | 0 |
| 受取助成金等　計 | 1,795,804 | 0 | 0 | 1,025,804 | 480,000 | 545,804 | 0 | 0 | 770,000 | 0 |
| 【事業収益】 | | | | 0 | | | | | | |
| 自主事業収益 | 1,669,392 | 0 | 0 | 54,806 | 0 | 10,806 | 44,000 | 0 | 1,614,586 | 0 |
| 販売事業収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受託事業収益 | 6,626,308 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,626,308 |
| 事業収益　計 | 8,295,700 | 0 | 0 | 54,806 | 0 | 10,806 | 44,000 | 0 | 1,614,586 | 6,626,308 |
| 【その他収益】 | | | | 0 | | | | | | |
| 受取　利息 | 100 | 90 | 0 | 8 | 2 | 0 | 6 | 0 | 2 | 0 |
| 雑　収　益 | 798,000 | 102,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 696,000 |
| その他収益　計 | 798,100 | 102,090 | 0 | 8 | 2 | 0 | 6 | 0 | 2 | 696,000 |
| 経常収益　計 | 11,596,554 | 636,450 | 0 | 1,253,208 | 652,592 | 556,610 | 44,006 | 0 | 2,384,588 | 7,322,308 |
| 【経常費用】 | | | | 0 | | | | | | |
| 【事業費】 | | | | 0 | | | | | | |
| （人件費） | | | | 0 | | | | | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| （その他経費） | | | | 0 | | | | | | |
| 【売上原価】 | | | | 0 | | | | | | |
| 業務委託費（事業） | 4,802,382 | 0 | 39,600 | 452,000 | 120,000 | 332,000 | 0 | 0 | 448,400 | 3,862,382 |
| 諸　謝　金（事業） | 2,000,127 | 0 | 16,500 | 174,548 | 100,000 | 30,000 | 44,548 | 0 | 207,950 | 1,601,129 |
| 印刷製本費（事業） | 14,487 | 0 | 6,591 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,505 | 4,391 |
| 会　議　費（事業） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旅費交通費（事業） | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 |
| 通信運搬費（事業） | 69,044 | 0 | 55,310 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,934 | 2,800 |
| 消耗品　費（事業） | 579,925 | 0 | 0 | 469,937 | 317,598 | 152,339 | 0 | 0 | 21,908 | 88,080 |
| 器具備品費（事業） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 修　繕　費（事業） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 賃　借　料（事業） | 112,680 | 0 | 0 | 1,600 | 1,600 | 0 | 0 | 0 | 0 | 111,080 |
| 減価償却費（事業） | 45,770 | 0 | 0 | 45,770 | 45,770 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 保　険　料（事業） | 106,672 | 0 | 0 | 79,422 | 79,422 | 0 | 0 | 0 | 27,250 | 0 |
| 調査研究費（事業） | 3,772 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,772 | 0 |
| 支払手数料（事業） | 20,263 | 0 | 1,100 | 5,241 | 3,718 | 1,320 | 203 | 0 | 2,812 | 11,110 |
| 広告宣伝費（事業） | 44,883 | 0 | 0 | 44,883 | 0 | 44,883 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 事業　仕入（事業） | 982,368 | 0 | 0 | 44,028 | 0 | 0 | 44,028 | 0 | 938,340 | 0 |
| 販売　仕入（事業） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 雑　　費（事業） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他経費計 | 8,783,373 | 0 | 119,101 | 1,317,429 | 668,108 | 560,542 | 88,779 | 0 | 1,664,871 | 5,681,972 |
| 事業費　計 | 8,783,373 | 0 | 119,101 | 1,317,429 | 668,108 | 560,542 | 88,779 | 0 | 1,664,871 | 5,681,972 |
| 【管理費】 | | | | 0 | | | | | | |
| （人件費） | | | | 0 | | | | | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| （その他経費） | | | | 0 | | | | | | |
| 印刷製本費 | 2,013 | 2,013 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 業務委託費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 通信運搬費 | 122,890 | 21,100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25,447 | 76,343 |
| 消耗品　費 | 7,630 | 7,630 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 水道光熱費 | 84,356 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21,089 | 63,267 |
| 地代　家賃 | 991,980 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 247,995 | 743,985 |
| 諸　会　費 | 10,400 | 8,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,400 | 0 |
| 租税　公課 | 500 | 500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支払手数料 | 51,348 | 51,348 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 雑　　費 | 44,016 | 44,016 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他経費計 | 1,415,133 | 234,607 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 296,931 | 883,595 |
| 管理費　計 | 1,415,133 | 234,607 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 296,931 | 883,595 |
| 経常費用　計 | 10,198,506 | 234,607 | 119,101 | 1,317,429 | 668,108 | 560,542 | 88,779 | 0 | 1,961,802 | 6,565,567 |
| 当期経常増減額 | 1,398,048 | 401,843 | -119,101 | -64,221 | -15,516 | -3,932 | -44,773 | 0 | 422,786 | 756,741 |
| 《経常外増減の部》 | | | | 0 | | | | | | |
| 【経常外収益】 | | | | 0 | | | | | | |
| 経常外収益　計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【経常外費用】 | | | | 0 | | | | | | |
| 経常外費用　計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 《正味財産増減の部》 | | | | 0 | | | | | | |
| 税引前当期正味財産増減額 | 1,398,048 | 401,843 | -119,101 | -64,221 | -15,516 | -3,932 | -44,773 | 0 | 422,786 | 756,741 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 74,500 | 74,500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期正味財産増減額 | 1,323,548 | 327,343 | -119,101 | -64,221 | -15,516 | -3,932 | -44,773 | 0 | 422,786 | 756,741 |
| 前期繰越正味財産額 | 13,573,835 | | | | | | | | | |
| 次期繰越正味財産額 | 14,897,383 | | | | | | | | | |

第21期（2020.7.1-2021.6.30）予算実績表

| 勘定科目名称 | 予算 | 実績 | 差額<br>（実績－予算） |
|---|---|---|---|
| 《経常増減の部》 | | | |
| 【経常収益】 | | | |
| 【受取会費】 | | | |
| 運営会員受取会費 | 180,000 | 144,000 | △ 36,000 |
| 一般会員受取会費 | 360,000 | 367,000 | 7,000 |
| 賛助会員受取会費 | 0 | 10,000 | 10,000 |
| 受取会費　計 | 540,000 | 521,000 | △ 19,000 |
| 【受取寄付金】 | | | |
| 受取寄付金 | 100,000 | 185,950 | 85,950 |
| 受取寄付金 計 | 100,000 | 185,950 | 85,950 |
| 【受取助成金等】 | | | |
| 受取助成金 | 810,000 | 1,795,804 | 985,804 |
| 受取助成金等 計 | 810,000 | 1,795,804 | 985,804 |
| 【事業収益】 | | | |
| 自主事業収益 | 2,000,000 | 1,669,392 | △ 330,608 |
| 販売事業収益 | 100,000 | 0 | △ 100,000 |
| 受託事業収益 | 6,000,000 | 6,626,308 | 626,308 |
| 事業収益 計 | 8,100,000 | 8,295,700 | 195,700 |
| 【その他収益】 | | | |
| 受取　利息 | 0 | 100 | 100 |
| 雑　収　益 | 150,000 | 798,000 | 648,000 |
| その他収益 計 | 150,000 | 798,100 | 648,100 |
| 経常収益 計 | 9,700,000 | 11,596,554 | 1,896,554 |
| 【経常費用】 | | | |
| 【事業費】 | | | |
| （人件費） | | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | 0 |
| （その他経費） | | | |
| 業務委託費（事業） | 4,000,000 | 4,802,382 | 802,382 |
| 諸　謝　金（事業） | 1,750,000 | 2,000,127 | 250,127 |
| 印刷製本費(事業) | 30,000 | 14,487 | △ 15,513 |
| 会　議　費(事業) | 10,000 | 0 | △ 10,000 |
| 旅費交通費(事業) | 100,000 | 1,000 | △ 99,000 |
| 通信運搬費(事業) | 40,000 | 69,044 | 29,044 |
| 消耗品　費(事業) | 700,000 | 579,925 | △ 120,075 |
| 器具備品費（事業） | 140,000 | 0 | △ 140,000 |
| 修　繕　費(事業) | 100,000 | 0 | △ 100,000 |
| 賃 借 料(事業) | 30,000 | 112,680 | 82,680 |
| 減価償却費(事業) | 50,000 | 45,770 | △ 4,230 |
| 保　険　料(事業) | 100,000 | 106,672 | 6,672 |
| 調査研究費（事業） | 50,000 | 3,772 | △ 46,228 |
| 支払手数料(事業) | 20,000 | 20,263 | 263 |
| 広告宣伝費（事業） | 50,000 | 44,883 | △ 5,117 |
| 事業仕入（事業） | 0 | 982,368 | 982,368 |
| 販売仕入（事業） | 80,000 | 0 | △ 80,000 |
| 雑　　費(事業) | 20,000 | 0 | △ 20,000 |
| その他経費計 | 7,270,000 | 8,783,373 | 1,513,373 |
| 事業費 計 | 7,270,000 | 8,783,373 | 1,513,373 |
| 【管理費】 | | | |
| （人件費） | | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | 0 |
| （その他経費） | | | |
| 印刷製本費 | 10,000 | 2,013 | △ 7,987 |
| 業務委託費 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 通信運搬費 | 120,000 | 122,890 | 2,890 |
| 消耗品　費 | 30,000 | 7,630 | △ 22,370 |
| 水道光熱費 | 120,000 | 84,356 | △ 35,644 |
| 地代　家賃 | 990,000 | 991,980 | 1,980 |
| 諸　会　費 | 30,000 | 10,400 | △ 19,600 |
| 租税　公課 | 5,000 | 500 | △ 4,500 |
| 支払手数料 | 35,000 | 51,348 | 16,348 |
| 雑　　費 | 15,500 | 44,016 | 28,516 |
| その他経費計 | 1,455,500 | 1,415,133 | △ 40,367 |
| 管理費 計 | 1,455,500 | 1,415,133 | △ 40,367 |
| 経常費用 計 | 8,725,500 | 10,198,506 | 1,473,006 |
| 当期経常増減額 | 974,500 | 1,398,048 | 423,548 |
| 《経常外増減の部》 | | | |
| 【経常外収益】 | | | |
| 経常外収益 計 | 0 | 0 | 0 |
| 【経常外費用】 | | | |
| 経常外費用 計 | 0 | 0 | 0 |
| 《正味財産増減の部》 | | | |
| 税引前当期正味財産増減額 | 974,500 | 1,398,048 | 423,548 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 74,500 | 74,500 | 0 |
| 当期正味財産増減額 | 900,000 | 1,323,548 | 423,548 |

| （千円） | 1期 | 2期 | 3期 | 4期 | 5期 | 6期 | 7期 | 8期 | 9期 | 10期 | 11期 | 12期 | 13期 | 14期 | 15期 | 16期 | 17期 | 18期 | 19期 | 20期 | 21期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 当期収入合計 | 4,622 | 12,870 | 26,665 | 23,441 | 25,389 | 15,341 | 7,073 | 8,353 | 14,125 | 6,016 | 8,144 | 9,029 | 5,740 | 3,060 | 5,476 | 7,619 | 12,794 | 10,740 | 12,294 | 13,283 | 11,597 |
| 当期支出合計 | 4,069 | 11,959 | 22,184 | 24,567 | 21,946 | 18,672 | 10,380 | 6,946 | 11,174 | 6,633 | 7,953 | 7,644 | 5,261 | 3,601 | 4,984 | 6,702 | 10,669 | 9,256 | 11,912 | 11,987 | 10,273 |
| 当期収支差額 | 552 | 911 | 4,481 | −1,126 | 3,443 | −3,331 | −3,307 | 1,408 | 2,950 | −617 | 191 | 1,385 | 480 | −542 | 492 | 916 | 2,125 | 1,483 | 382 | 1,296 | 1,324 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 前期繰越収支差額 | 0 | 552 | 1,464 | 5,945 | 4,819 | 8,262 | 4,932 | 1,624 | 3,032 | 5,983 | 5,366 | 5,557 | 6,942 | 7,422 | 6,880 | 7,372 | 8,288 | 10,413 | 11,896 | 12,278 | 13,574 |
| 次期繰越収支差額 | 552 | 1,464 | 5,945 | 4,819 | 8,262 | 4,932 | 1,624 | 3,032 | 5,983 | 5,366 | 5,557 | 6,942 | 7,422 | 6,880 | 7,372 | 8,288 | 10,413 | 11,896 | 12,278 | 13,574 | 14,897 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自主事業参加者数 | | | | | | | | | | | 836 | 1,063 | 1,158 | 1,240 | 1,505 | 2,144 | 2,111 | 2,241 | 2,569 | 2,369 | 2,270 |

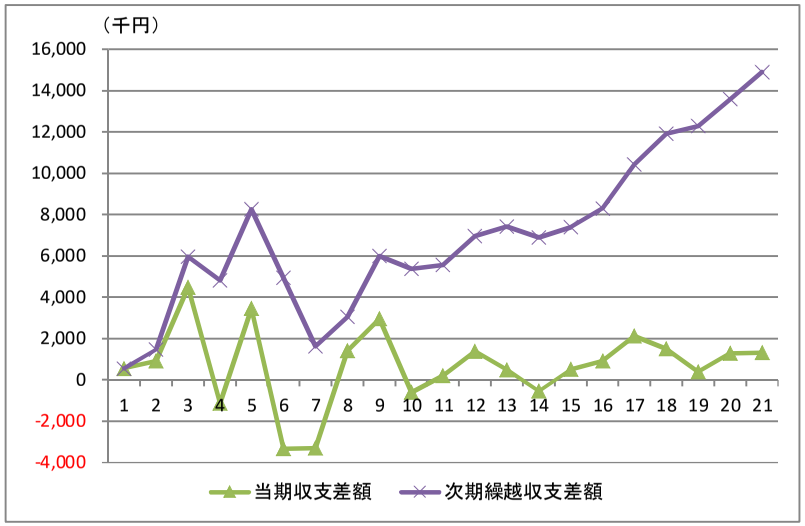



図　当期収支差額および次期繰越収支差額の推移

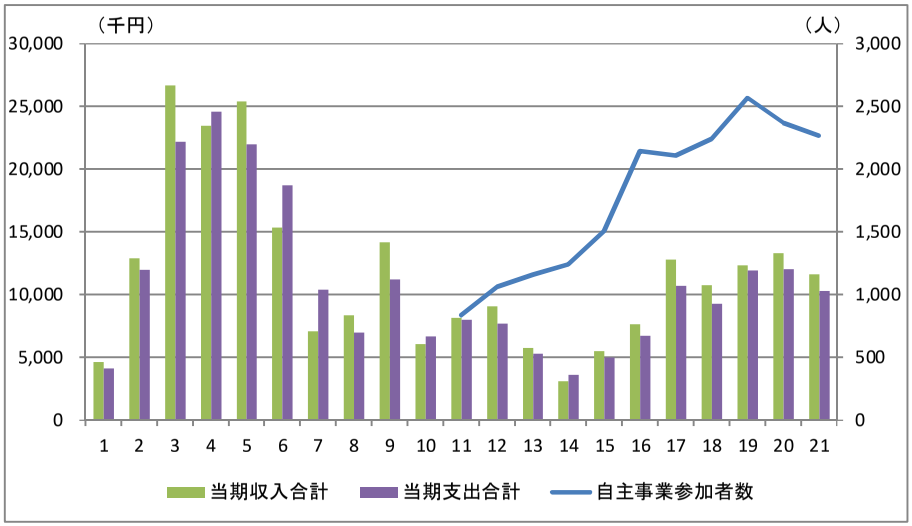



図　当期収入合計および当期支出合計の推移

第 3 号議案　第 22 期事業計画（2021 年 7 月～2022 年 6 月）

近年、地球温暖化の影響と見られる気象災害が頻発し、気候危機への対応が迫られるとともに、SDGs（持続可能な開発目標）に向けた具体的な行動が求められている。NPO はもちろん行政・企業など多様なセクターのなかで、持続可能な社会・経済活動の基盤として地球環境を保全すべきという認識が高まっている。一方、長く続くコロナ禍において、東京一極集中に象徴される都市集住のあり方が見直され、地方への移住や自然を求める動きとともに、「里山とかかわる暮らし」「里山をいかす仕事」への関心も高まっている。

このような国内外の潮流を踏まえ、2020 年に設立 20 周年を迎えた NORA は、どのような方針のもとでこれからの歩みを進めるのか。いまだそのビジョンや中長期計画は明確に描けていないが、今期の事業計画の盛り込むべき 3 点を確認しておきたい。

①SDGs を見通したビジョン・中長期計画の作成

2019 年 12 月～2020 年 6 月に開催したシリーズ NORA サロンの議論を参考にして、SDGs の目標年である 2030 年に向けたビジョンや中長期計画を作成する。ただし、NORA はピラミッド型の組織を目ざしていないので、理念優先で数値目標を機関決定して、そこに最短距離で到達しようとすると無理が生じてうまくいかないだろう。どのようにビジョンを描くのか、どのような計画のかたちが望ましいのかについて、議論を深める必要がある。

NORA は定款上の目的として「地域ごとに個性ある持続可能なコミュニティづくり」を掲げているが、これは一人ひとりが対話を通して主体性を発揮できる場づくりを想定している。ここで対話とは、他者との対話に限らず、自分との対話、自然との対話などを含むものであり、話す一方ではなく、きちんと聞くことを重視するという意味がある。社会が変わらないと不満を抱えているとき、変わるべきは自分たちであるかもしれない。腑に落ちないビジョンを急いで作成する必要はない。これを作るプロセスこそを大事にしたい。

地球環境危機、少子高齢化・人口減少など、社会的な課題を挙げればきりがない。子どもたちの体験の貧困や格差、ナラ枯れ被害の拡大、みどりを保全する担い手不足など、里山にかかわる身近な課題も山積している。しかし、多くの課題に直面していることは、それらを解消できれば現状よりも改善されるという希望が多いことでもある。里山に軸足を置きながらも、環境問題のほか、教育・福祉、貧困・格差、まちづくりなど、多様な社会問題とも関連させつつ、広い視野を持って活動を展開していきたい。

②コーディネーターを中心とした「はまどま」運営の社会実験

「はまどま」には、ここに集まる人びと、地域の人びとに利用されることで持続可能なコミュニティが育まれていくときの拠点になるというイメージがある。コロナ禍が続くなか、この目ざすところに対してどのような実践やサポートをしてくべきかについては再検討が必要である。そこで、寄り合い会議のメンバーと対話し、その繋がりとアイデアをもとに、地域の人びとによる「はまどま」の活用実践をコーディネートしていきたい。

また、さらに運営しやすく、利用しやすく、参加しやすく、安心して気軽に集える場となるための環境とルールづくりも合わせて取り組んでいく。各プロジェクトの自主性を維持

しながらも、運営スタッフの個人的な献身に依存しないように、プロボノの支援を仰ぐなどして、ICT の活用、アウトソーシング等も進めていく。

③20 周年記念事業の実施―プロジェクト紹介動画・初心者向けの里山案内

設立 20 周年を記念した事業として、自主事業として実施している各プロジェクトの紹介動画を制作する。また、かつて『里山ガイドブック』（仮）を作るために集めた原稿があるので、これを生かして初心者に向けて里山への入り方や、里山の見方や感じ方などを伝える作品を制作する。

今日の里山は、環境問題という視点よりも、自然豊かな子育て環境として、丁寧な暮らしや地に足の付いた仕事を求める場として、人びとがアクセスする。市民参加の里山保全をすすめてきた立場とは、自然に対する接し方や公共性の捉え方に相違があって、ときに対立することもあるだろう。しかし、同じ場所を大切に思う気持ちがあれば、同じ方向に関心を向けることもできると考え、前向きにコミュニケーションを図りたい。その際、わかりやすい言葉で視覚的にも伝えられるような表現手法、たとえば絵本を制作することが考えられる。

以上のような活動を展開しながらも、定例の自主活動（ヤマ・ノラ・ムラ・ハレ・イキモノ）も着実に継続し、「根を持つことと翼をもつこと」を両立させていく。

自主事業

１．ヤマ事業

１）NORA の山仕事　{別紙計画書のとおり}

２）竹を活かす山仕事　{別紙計画書のとおり}

３）よこはま里山レンジャーズ（連携：NAREC）　{別紙計画書のとおり}

４）都市の里山の活用推進（令和 3 年度「緑の募金」公募事業）　{別紙計画書のとおり}

５）山道具の安全使用　{別紙計画書のとおり}

６）まちの近くで里山をいかすシゴトづくり

「里山とかかわる暮らし」と「里山をいかす仕事」の両立を求め、環境 NPO 運営スタッフ懇談会を定期開催し、バックオフィスの ICT 活用を進めるとともに事業協同組合の可能性を探る。また、多摩三浦丘陵群において里山の空間・資源をもとに事業を展開している他団体・個人等と具体的な協働のあり方を探り、「里山コネクト」の新たな活用を試みる。

６）安全で楽しい森林づくり活動を指導できるリーダー養成事業

（主催：モリダス、令和 3 年度「緑と水の森林ファンド」、）

モリダス主催事業と共催するかたちで、里山保全の計画に基づく安全で楽しい活動と資

源の循環利用を推進するために現場リーダーを養成するとともに、横浜・多摩地域の活動団体とのネットワークを強化する。

２．ノラ事業

１）森と畑と音楽と　{別紙計画書のとおり}

３．ムラ事業

１）はまどまプロジェクト

(1) もったいないから竹細工　{別紙計画書のとおり}

(2) 『食べもの通信』読者会　{別紙計画書のとおり}

(3) はぶすぱラボ

(4) はまどま諸々　{別紙計画書のとおり}

はまどまで土間仕事／季節の素材でスイーツメイキング／お香のてならい～金曜夜のお香づくり体験／心も体も元気に季節の薬膳食事会／四季の宴～神奈川野菜で至福のフレンチ

２）地域連携・ネットワーク

南区役所、宮宿花 1・2 丁目町内会、蒔田公園愛護会、フォーラム南太田、睦地域ケアプラザなど、蒔田地区周辺の公共機関・団体との連携を深める。また、まいたエコサロンの会、横浜コミュニティカフェネットワークの一員として、ネットワーク活動に協力する。

４．ハレ事業

１）20 周年記念事業

今期の事業方針にもとづき、プロジェクト紹介動画と初心者向けの里山案内を制作する。

５．イキモノ事業

１）旬の里山探訪

NPO 法人新治里山「わ」を広げる会の新治里山公園運営プロジェクトが「にいはる里山交流センター」で実施しているイベントに協力する。

２）トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

フォーラムの一員として森里川海と連携し、生物多様性保全に繋がる活動を実施する。

６．広報事業

１）ウェブサイト更新・メールマガジン配信・SNS による情報発信

ウェブサイトの記事掲載については、一部の会員に負担が集中しないよう役割分担を進める。ウェブサイトと連携しながら、定期的に「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を配信して、効果的に情報を発信する。また、SNS（Twitter・Facebook・Instagram）を利用して、柔軟に迅速に情報を発信するとともに、ウェブサイトとの相乗効果を高める。

２）活動報告書の作成

202 1 年の活動報告書を作成し、年末に年会費の依頼とともに会員に送付する。

協働・受託事業

適宜、社会のニーズに応じて協働・受託事業を進める。また、ボランティア体験、インターンシップの受入は、可能な限り引き受ける。

・横浜市保育所・小中学校等ビオトープ整備等指導（横浜市創造局）
・森づくりボランティア派遣及び体験事業（横浜市環境創造局みどり）
・長浜公園トンボ池管理等業務（公益財団法人 横浜市緑の協会）
・野島公園ビオトープ環境改善業務（公益財団法人 横浜市緑の協会）
・本牧市民公園とんぼ池管理業務（横浜植木株式会社）
・Green Gift 地球元気プログラム（NPO 法人日本 NPO センター）

委員・講師派遣

行政・NPO・大学等からの求めに応じて、里山保全や市民活動等に関する委員・講師を派遣する。

■NORA 第 22 期プロジェクト計画書(2021 年 7 月～2022 年 6 月)

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | NORA のヤマ仕事 | | |
| カテゴリー | ヤマ | | |
| リーダー | 下山康博 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 中林博志、島村雅英 | | |
| 目的<br>(箇条書きで記入) | ・「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくる<br>・森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかかわる暮らしを横浜で実践する | | |
| 目標<br>(今期の具体的な目標を箇条書きで記入) | ・林内に蓄積してしまった廃材の処理を促進させる<br>・間伐した丸太を速やかに保管場所へ運び、資材として有効活用する<br>・移積された丸太を安全に取り出せるように、設備を整える<br>・メンバーのスキルアップを促進させる<br>・参加者が快適に森で作業できる環境を整える | | |
| 内容 | 常緑樹の除伐や下草刈、落葉樹苗の育苗から定植など、豊かな森づくりを目標に作業を行っている。除伐した材を有効活用するために、丸太を製材しスツールなどの木工品を製作したり、薪などにも利用している。 | | |
| 日時 | 定例:第 2・第 4 日曜日　やま守り編:第 1・第 3 土曜日　　実施時間 10:00～16:00 | | |
| 場所 | 旭区下川井町　特別緑地保全地区 | | |
| 年間スケジュール<br>(単発のイベントの場合は実施日のスケジュール) | 10:00　川井緑地に集合　ミーティングを行い作業内容、使用する道具を確認<br>10:30　現場にて作業開始<br>12:00　昼食<br>13:00　作業開始<br>15:00　作業終了　道具の整備、活動の振り返りと予定を確認<br>16:00　解散 | | |
| 一般募集の有無 | 有：定員未定（NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集） | | |
| 参加費の有無 | 有:グリーンボランティア保険加入料として　@500 円 | | |
| 収入見込額(a)<br>(項目ごとに金額を記すほか、合計も記入) | 参加費・寄付金収入 | 100,000 円 | 10 月　新治機械除草 |
| | 資材販売収入 | 30,000 円 | |
| | 県森林協会支援金 | 30,000 円 | |
| | 緑の募金 | 60,000 円 | |
| | 合　計 | 220,000 円 | |
| 支出見込額(b)<br>(項目ごとに金額を記すほか、合計も記入) | グリーンボランティア保険 | 60,000 円 | (@3,000 円×20 回程度) |
| | 委託費 | 120,000 円 | (1 万円×12 か月) |
| | 消耗品費 | 40000 円 | (燃料・工具修理等) |
| | 合　計 | 220,000 円 | |
| 収支見込額(a-b) | 0 | | |
| 備考(他団体との連携等を適当に記入) | | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 16 日 | 作成者名 | 下山康博 |

■NORA 第 22 期プロジェクト計画書(2021 年 7 月～2022 年 6 月)

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 竹を活かす山仕事 | | |
| カテゴリー | ヤマ | | |
| リーダー | 下山康博 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 三宅健也 | | |
| 目的<br>(箇条書きで記入) | ・畑や水源林である山々を侵食する竹林の手入れを行なう<br>・竹林整備を行なうことで、恵みある里山の生態系を維持する<br>・整備活動によって排出された竹材を有効活用する | | |
| 目標<br>(今期の具体的な目標を箇条書きで記入) | ・事業への継続的な参加者を募ると共に、運営を担えるスタッフを募る<br>・民有地の竹林整備を継続する<br>・良質な材を生産できる竹林を目標とし、整備を行う<br>・横浜市内で生産性を望める竹林を探す | | |
| 内容 | 南足柄郡中井町にある竹林において、竹の間伐作業を行う。<br>切り出した竹は、竹かごを編む為の竹ひご作りに用いたり、カトラリーを製作する材料として活用する。 ※8 月 9 月の間は、中井町での伐り出し作業は無し | | |
| 日時 | 毎月第 3 日曜日　10:00～15:00 | | |
| 場所 | 南足柄郡中井町 | | |
| 年間スケジュール<br>(単発のイベントの場合は実施日のスケジュール) | 9:00　京浜急行　上大岡駅集合(10:00　セブンイレブン中井遠藤店)<br>10:30　現地到着　作業開始<br>12:00　昼休み<br>13:00　作業再開<br>14:00　作業終了　材の積み込み<br>15:00　現地解散 | | |
| 一般募集の有無 | 有：定員未定（NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集） | | |
| 参加費の有無 | 有:@500 円(中井集合)・1,000 円(上大岡集合) | | |
| 収入見込額(a)<br>(項目ごとに金額を記すほか、合計も記入) | 参加費　@500×4 人×10 回＝20,000 円<br>@1,000 円×4 人×10 回＝40,000 円<br>収入計　60,000 円 | | |
| 支出見込額(b)<br>(項目ごとに金額を記すほか、合計も記入) | 交通費　22,600 円(@2,260×10 回)<br>燃料費　17,000 円(@1,700×10 回)<br>消耗品費　20,400 円<br>支出計　60,000 円 | | |
| 収支見込額(a-b) | 0 | | |
| 備考(他団体との連携等を適当に記入) | | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 11 日 | 作成者名 | 下山康博 |

■NORA 第 22 期プロジェクト計画書(2021 年 7 月～2022 年 6 月)

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | よこはま里山レンジャーズ | | |
| カテゴリー | ヤマ | | |
| リーダー | 島村雅英 | | |
| スタッフ<br>(リーダーを除く) | よこはま里山レンジャーズプロジェクトメンバー(松村、下山、吉武、中林) | | |
| 目的<br>(箇条書きで記入) | ・里山保全活動に新たなメンバーが加わり、環境活動団体の活性化を支援が図られる。<br>・レンジャーズ活動が推進される。 | | |
| 目標 | ・レンジャーズをのべ 10 回、里山等保全活動に派遣する。<br>・活動をとおして運営スタッフやレンジャーズリーダーとなりうる人材を育成する。 | | |
| 内容 | ・レンジャーズ受け入れ団体となる環境活動団体と活動内容、日程の調整をおこない、レンジャーズ隊員を派遣する。<br>・レンジャーズリーダーを育成する。<br>・指定管理者などからの活動資金提供を模索する。<br>・森づくりボランティア体験事業(横浜市)の参加案内をレンジャーズに発信する。 | | |
| 日時 | ・レンジャーズ派遣:月 1 回程度　週末<br>・森づくりボランティア体験事業の案内:6 回 | | |
| 場所 | レンジャーズ派遣先:受け入れ団体活動場所(年間スケジュール参照) | | |
| 年間スケジュール | 7 月 3 日(土)　新治の谷戸田　土手の草刈り　雨天中止　新治里山わを広げる会<br>9 月 18 日(土)　新治の谷戸田　外来植物の駆除　新治里山わを広げる会<br>10 月 23 日(土)　瀬上市民の森　ヤマアガエルが産卵する湿地の草刈り　瀬上さとやまもりの会<br>11 月 7 日(日)　恩田の谷戸　収穫祭,脱穀・籾すり　恩田の谷戸ファンクラブ<br>12 月 5 日(日)　桜ヶ丘緑地　里山のお手入れ　桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト<br>2 月 13 日(日)　瀬上市民の森　樹林地の除伐、間伐　瀬上さとやまもりの会<br>3 月 5 日(土)　谷矢部池公園　竹林整備　わかぎの会<br>活動調整<br>5 月　川井緑地　里山のお手入れ　NORA<br>6 月　元町公園プール　プールのヤゴトリ　横浜にとんぼを育てる会 | | |
| 一般募集の有無 | レンジャー登録を原則、1回あたり 10～20 人<br>レンジャーズ登録はメルマガ・HP、自然環境復元協会からの呼びかけ | | |
| 参加費の有無 | 無料 | | |
| 収入見込額(a) | 事業収入<br>＜計＞ | 100,000 円<br>100,000 円 | 森づくりボランティア体験事業から |
| 支出見込額(b) | 謝金<br>＜計＞ | 100,000 円<br>100,000 円 | @10,000 円×10 回 リーダー派遣<br>(交通費含む) |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考(他団体との連携等を適当に記入) | レンジャーズ名簿管理:自然環境復元協会<br>受け入れ団体:恩田の谷戸ファンクラブ、瀬上さとやまもりの会、新治里山「わ」を広げる会、桜ケ丘・水辺のある森再生プロジェクト、横浜にとんぼを育てる会 | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 18 日 | 作成者名 | 島村雅英 |



■NORA 第 22 期プロジェクト計画書(2021 年 7 月～2022 年 6 月)

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 都市の里山の活用推進 | | |
| カテゴリー | ヤマ | | |
| リーダー | 島村雅英 | | |
| スタッフ<br>(リーダーを除く) | 下山康博、中林博志、小西陽二 | | |
| 目的<br>(箇条書きで記入) | ・川井緑地等の活動で産出する間伐材や生育する植物資源等を有効活用することで、持続的な里山保全及びその活動が推進される。 | | |
| 目標 | ・里山保全活動で産出した材の有効活用を図るための技術を習得する<br>・ワークショップの開催により、活用方法の普及を図る。 | | |
| 内容 | ①グリーンウッドワーク・ワークショップの開催<br>②里山の植物を活用したバーブ・お香づくりワークショップの開催<br>③間伐材を活用するための水中乾燥の実験とワークショップの開催 | | |
| 日時 | ワークショップは土日、祝日に開催 | | |
| 場所 | レンジャーズ派遣先:受け入れ団体活動場所(年間スケジュール参照) | | |
| 年間スケジュール | ①は 9 月～10 月を予定、その他は未定<br>③の実験は通年　川井緑地の活動時に実施 | | |
| 一般募集の有無 | 有：定員未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集) | | |
| 参加費の有無 | ワークショップは有料開催予定　価格未定 | | |
| 収入見込額(a) | 緑の募金<br>＜計＞ | 270,000 円 | 森づくりボランティア体験事業から |
| 支出見込額(b) | ワークショップ等保険<br>会場費<br>諸謝金<br>資材費<br>その他経費<br>＜計＞ | 40,000 円<br>10,000 円<br>100,000 円<br>80,000 円<br>40,000 円<br>270,000 円 | (チラシ作成、講師等) |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考(他団体との連携等を適当に記入) | NPO 法人足柄丹沢の郷ネットワーク | | |
| 作成年月日 | 2021 年 8 月　　日 | 作成者名 | 島村雅英 |

■NORA 第 22 期プロジェクト計画書(2021 年 7 月～2022 年 6 月)

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 山道具の安全使用(提携:株式会社シンコー) | | |
| カテゴリー | ヤマ | | |
| リーダー | 中林博志 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 下山康博、島村雅英 | | |
| 目的 | ・環境に配慮し、より安全性を高めた緑地保全活動用の機材使用の啓発<br>・環境と安全に配慮した機材物品類を販売・供給 | | |
| 目標 | ・NORA 会員、関係する森づくり団体や山仕事の参加者などへ、バッテリーチェーンソーなど環境と安全に配慮した物品類を供給する。 | | |
| 内容 | ・目標に同じ | | |
| 日時 | ・通年 | | |
| 場所 | ー | | |
| 年間スケジュール | ・通年 | | |
| 一般募集の有無 | ・無 | | |
| 参加費の有無 | ・無 | | |
| 収入見込額(a) | 助成金収入 | 0 円 | |
| | 参加費・寄付金収入 | 0 円 | |
| | 資材販売収入 | 60,000 円 | |
| | ＜計＞ | 60,000 円 | |
| 支出見込額(b) | 資材仕入費 | 40,000 円 | |
| | 謝金 | 0 円 | |
| | 保険料 | 0 円 | |
| | 事務委託費 | 0 円 | |
| | 消耗品費 | 0 円 | |
| | ＜計＞ | 40,000 円 | |
| 収支見込額(a-b) | 20,000 円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 18 日 | 作成者名 | 中林博志 |



■NORA 第 22 期プロジェクト計画書(2021 年 7 月～2022 年 6 月)

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 森と畑と音楽と | | |
| カテゴリー | ノラ | | |
| リーダー | 中川欅 | | |
| 目的 | ・休耕農地を利用することで地域環境や農地を維持する。<br>・参加者が一連の農作業を体験することで、作物を育て収穫する喜びを体感する。<br>・常時作付けが可能なように土地を管理する。 | | |
| 目標 | ・イベント参加者ではなく、準備運営に携わるスタッフの確保<br>・マーケットやマルシェなど生産物の消費先(販路)の拡大<br>・畑の効率的な利用方法の検討および実践 | | |
| 内容 | ・農地管理(草刈り・草取り・耕耘)　・作物の育成(作付け・施肥・防虫管理・収穫)<br>・収穫体験の実施　・活動場所で採れた野菜を使った料理<br>・林産物や伐採樹木の活用　・子ども向け環境教育の実施<br>・音楽会の実施　・クラフト全般(おもに木工。電動工具も使用) | | |
| 日時 | 基本的に毎週日曜日 10:00～17:00 (土曜日活動になることもあり:要連絡) | | |
| 場所 | 厚木市七沢・伊勢原市日向 | | |
| 年間スケジュール | 7 月　収穫作業　草刈り　種まき　田んぼの草刈り<br>8 月　夏野菜収穫　草刈り　畝作り　種まき・苗植え付け　水田草取り<br>9 月　草取り　苗植え付け　種まき<br>10 月　草刈り　草取り　収穫作業　稲刈り<br>12 月上旬　収穫祭<br>11～2 月　収穫作業　クラフト(伐採した木材等の活用)<br>2～3 月　耕耘・クラフト・イベント出展・こども自然体験プログラム(川遊び・昼食作り)<br>4 月　種まき　中旬～下旬　草刈り　耕運　施肥<br>5 月　苗植え付け　種まき　草刈り・畝作り　水田のための用水路清掃<br>4～6 月　種まき　ニンニク収穫　苗植え(サツマイモ)　草刈り<br>6 月　田植え (田植え体験) | | |
| 一般募集の有無 | 有 (定員未定) | | |
| 参加費の有無 | 有 (参加プログラムによる) | | |
| 収入見込額(a) | 農業体験委託 | 60,000 円 | |
| | 農産物販売 | 100,000 円 | @100 円×1000 個 |
| | ＜計＞ | 160,000 円 | |
| 支出見込額(b) | 購入費 | 100,000 円 | 種苗 50,000 円、肥料 10,000 円、資材 40,000 円 |
| | 借地料 | 30,000 円 | 地主 3 名へのお礼 |
| | 燃料代ほか | 30,000 円 | ガソリン・オイル代 20,000 円、雑費 10,000 円 |
| | ＜計＞ | 160,000 円 | |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2021年 7 月 31 日 | 作成者名 | 中川　欅 |

■NORA 第 22 期プロジェクト計画書(2021 年 7 月～2022 年 6 月)

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | もったいないから竹細工 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 下山康博 | | |
| スタッフ<br>(リーダーを除く) | 講師:山口和美　アシスタント:小田切一郎・小林準治・三宅健也 | | |
| 目的<br>(箇条書きで記入) | ・竹林整備で排出された竹材を有効活用する<br>・竹材から竹ひごを製作し、竹籠などの竹細工を作る<br>・竹材の価値を見出すことで、竹林整備への人員を誘う | | |
| 目標<br>(今期の具体的な目標を箇条書きで記入) | ・コロナ対策の徹底化<br>・新しいアドバイザーの育成&増員を考える<br>・次世代を担うマネージャーの発掘<br>・キャンセル待ち人数の軽減策を検討する | | |
| 内容 | 竹かご教室:5 作品(全 7 回)にて一区切りをつけ、修了後は工房作業への参加を促す<br>竹細工 工房:竹ひご作りの練習や竹かご製作、カトラリー作り等 WS を行う | | |
| 日時 | 毎月第 2 土曜日 (竹かご教室)13:00～17:00<br>毎月第 1 水曜・第 3 木曜・第 4 月・土曜日(工房作業) 9:30～12:00/13:00～16:00 | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール<br>(単発のイベントの場合は実施日のスケジュール) | | | |
| 一般募集の有無 | 有 : 定員 6～8 名 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集) | | |
| 参加費の有無 | 有:@1,000～2,500 円 | | |
| 収入見込額(a)<br>(項目ごとに金額を記すほか、合計も記入) | 参加費　144,000(竹かご教室)<br>768,000(竹細工工房)<br>収入計　912,000 | @2,000×6 人×12 回<br>@2,000×8 人×4 回/月×12 回<br>※　参加人数は平均値 | |
| 支出見込額(b)<br>(項目ごとに金額を記すほか、合計も記入) | はまどま使用料 91,200<br>経　費　820,200<br>支出計　912,000 | | |
| 収支見込額(a-b) | 0 | | |
| 備考(他団体との連携等を適当に記入) | | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 16 日 | 作成者名 | 下山康博 |

■NORA 第 22期プロジェクト計画書(2021 年 7 月～2022年 6 月)

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 『食べもの通信』読者会 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 三好豊 | | |
| スタッフ<br>(リーダーを除く) | 伊藤洋子 | | |
| 目的<br>(箇条書きで記入) | 月刊情報誌『食べもの通信』の定期購読をすすめつつ、少しずつ信頼できる新しい情報にふれ、学び合う場をつくる。 | | |
| 目標<br>(今期の具体的な目標を箇条書きで記入) | 2019 年 11 月から始めた企画。2020 年コロナ自粛期間に試験的にリモート読者会を 2 回開いた。以後も、コロナ禍が続く中で、リモート開催が定着している。宮崎県からの参加や、岡山県、編集部からの参加もあり、今後は「はまどま」での参加と、リモート参加を呼び掛けたい。 | | |
| 内容 | 2020 年 6 月までに 16 回の開催。伊藤洋子さんの zoom ホストと司会進行。最新号から参加者が気になった記事を発表し全員で感想、経験、意見などを出し合う。Zoom 流の発言の仕方、映像を使ったコミュニケーションにもすこしずつ慣れてきた。 | | |
| 日時 | 定例日・毎月第二月曜日・祝日等の場合は、参加者で相談する。 | | |
| 場所 | はまどまとリモート | | |
| 年間スケジュール<br>(単発のイベントの場合は実施日のスケジュール) | 順調ならば毎月開催。年間 12 回。内容によっては、特別開催も積極的に企画したい。 | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 有 | | |
| 収入見込額(a)<br>(項目ごとに金額を記すほか、合計も記入) | 1回 500 円・6 回分前納 2000 円(回数券方式)<br>8名×4000 円＝32000 円 | | |
| 支出見込額(b)<br>(項目ごとに金額を記すほか、合計も記入) | Zoom ホスト手数料(業務委託費)1200 円<br>はまどま運営協力費 30000 円<br>事務費(コピー代・ノート代等)800 円 | | |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考(他団体との連携等を適当に記入) | 『食べもの通信』発行・家庭栄養研究会はじめ、「食べもの通信」を通してつながることができる団体。 | | |
| 作成年月日 | 2021 年7月 19 日 | 作成者名 | 三好　豊 |

■NORA 第 22 期プロジェクト計画書（2021 年 7 月～2022 年 6 月）

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | はぶすぱ ラボ | | |
| カテゴリー | ムラ / ヤマ | | |
| リーダー | 三浦 まきこ | | |
| スタッフ<br>（リーダーを除く） | 勝野真美 | | |
| 目的<br>（箇条書きで記入） | ● 免疫力、自然治癒力を高めるメディカルハーブ及び植物の力を利用して人の体や心をケアするフィトセラピーの「研究・学び」の場を提供する。<br>● 参加者が知恵や知識を持ち寄り、みんなで楽しめるコミュニティづくりを目指す。 | | |
| 目標<br>（今期の具体的な目標を箇条書きで記入） | ● ［ヤマ］で、ハーブやスパイスを植えて育てて収穫するという一連の流れを体験しながら、［ムラ］で、食用・飲用・薬用・美容・装飾など様々な活用方法を学ぶ。<br>● 活動を通じてハーブやスパイスについての知識・理解を深め、暮らしの様々な場面で幅広く役立てる。 | | |
| 内容 | 豊かな森づくりの一翼を担うべく、［ヤマ］の一角に設けられた苗場エリアにてハーブスパイスの植栽を行い、定期的に手入れを施している。<br>月に一度、季節ごとにテーマを決めて［ムラ］でハーブ・スパイスの講座を開催している。<br>参加者が為になる情報を共有し、互いのスキルアップを図っている。 | | |
| 日時 | 定例活動:<br>第 2 日曜日　10:00～12:00（はまどま編）/ 13:00～14:30（ZOOM 編）［ムラ］<br>第 4 日曜日　10:00～12:00 / 13:00～15:00［2部制］［ヤマ］ | | |
| 場所 | はまどま［ムラ］/ 旭区下川井町 特別緑地保全地区［ヤマ］ | | |
| 年間スケジュール | ［ムラ］2021/7/11、8/8、9/12、10/24、11/28、12/26、2022/1/9、2/13、3/13、4/10、5/8、6/12<br>［ヤマ］2021/7/25、8/22、9/26、10/10、11/14、12/12、2022/1/23、2/27、3/27、4/24、5/22、6/26 | | |
| 一般募集の有無 | 有（定員未定） | | |
| 参加費の有無 | 有（参加プログラムによる） | | |
| 収入見込額(a) | 参加費<br>［ムラ］<br>［ヤマ］<br>＜計＞ | <br>294,000 円<br>48,000 円<br>342,000 円 | <br>@3,500 円×7 人×12 回<br>@1,000 円×4 人×12 回 |
| 支出見込額(b) | はまどま運営費<br>業務委託費<br>＜計＞ | 42,000 円<br>300,000 円<br>342,000 円 | |
| 収支見込額<br>(a-b) | 0 円 | | |
| 備考（他団体との連携等を適当に記入） | | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 8 日 | 作成者名 | 三浦 まきこ |



■NORA 第 22 期プロジェクト計画書（2021 年 7 月～2022 年 6 月）

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | はまどまで土間仕事 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 勝野真美 | | |
| 目的 | 外に出る機会が少なくなった昨今、だからこそ季節を感じる時間をあえて作り、手仕事をすることを目標にする。できるだけ素材に手で触れて、交流しながら…が本来だが、今期も前期にできなかったリモート開催も視野に入れる。ZOOM 等で手元を見ていただき、ポイントを伝えつつ仕込む季節の手作り食品。<br>「素材」の見分け方、美味しくする日本の昔からの「知恵」を分かち合いながら進めていきたい。 | | |
| 目標 | ・季節と暦に合わせた企画を作る。<br>・無理なく、自分の生活の中で活かせるレベルのものを作る。<br>・動画を撮影、アップを積極的に。 | | |
| 内容 | 神奈川産の素材を積極的に使って、普段の食事に寄り添う、季節の保存食や体にやさしい副菜を作る。 | | |
| 日時 | 季節ごとのタイミングで、2～3 か月に1度を予定。 | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 9月から開催予定 | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 有 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費<br>＜計＞ | 105,000 円<br>105,000 円 | @3,500 円×5×6 回<br>（3,000～5,000 円） |
| 支出見込額(b) | 消耗品費<br>はまどま運営費<br>＜計＞ | 84,000 円<br>21,000 円<br>105,000 円 | @500 円×7×6 回 |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 19 日 | 作成者名 | 矢野真美 |

■NORA 第 22 期プロジェクト計画書(2021 年 7 月～2022 年 6 月)

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 季節の素材でスイーツメイキング | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 山本美香 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 矢野真美 | | |
| 目的 | ・季節の果物や野菜で簡単に作れるレシピを中心に、神奈川県内産を積極的に使う。<br>・NORA 野菜市再開の際には、連動させることで、野菜市のお客さんや、町内のご近所さんも「はまどま」に立ち寄ってもらう工夫を。NORA の活動にも興味を持ってもらう。<br>・地域交流も視野に入れ、夏(自由研究)と冬(クリスマス)は親子での参加を促す。(子供も参加しやすい時間帯で開催) | | |
| 目標 | ・年 4 回の開催を目指す。(感染状況を見つつ、開催する)<br>(夏冬は平日の昼間、その他は可能な限り火曜日の NORA 野菜市に合わせる) | | |
| 内容 | 21 期は開催なしだったが、開催の要望はいただているので「みんなで作って、みんなで取り分けていただく」スタイルではなく、それぞれが作り、それぞれのお皿を完成させる形を考えていく。【例】1～2 品を参加者の前でデモで作成し、各自がそれぞれカセットコンロ等で料理を完成させる。 | | |
| 日時 | 2021 年 10 月、12 月、2022 年 3 月、5 月(予定) | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 2021 年 10 月(秋の素材満載のスイーツ＆ごはん)<br>12 月(簡単美味しいクリスマスメニュー)<br>2022 年 3 月(春の食材で美味しく春を愛でるメニュー)<br>5 月(初夏の爽やかさを感じるメニュー) | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 大人 2,000 円(中学生以上)、子ども 1,500 円(4歳以上)、4歳未満は無料 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費<br>＜計＞ | 100,000 円<br>100,000 円 | (@2,000 円×5＋@1,500×10)×4 回 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費<br>はまどま運営費<br>＜計＞ | 70,000 円<br>30,000 円<br>100,000 円 | @500 円×15×4 回 |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 19 日 | 作成者名 | 矢野真美 |



■NORA 第 22 期プロジェクト計画書(2021 年 7 月～2022 年 6 月)

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | お香の手ならい～金曜夜のお香づくり体験 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 粕谷恵(静流) | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | なし | | |
| 目的 | ・お香づくりの中で、個性のあるもの同士を合わせ、調和を目指すことを知っていただく。<br>・全て天然の原材料のみを使い自然の植物のもつこころ、からだに対する作用を感じてもらい、里山、自然、地球へ目を向けるきっかけを目指す。 | | |
| 目標 | ・SNS のほか、「はまどま掲示板」を近隣のカフェに置かせていただくなど広報に力を入れ、活動報告も WEB にアップする。<br>・NORA の他活動との連携の中での企画づくり。<br>・親子、子ども対象の企画。<br>・川井緑地の自然の素材を使ったお香原料の研究 | | |
| 内容 | 天然、自然の原料を使い、自分だけのオリジナルの香りのお香作品を作っていただく。<br>※講座参加者は各回1名限定 | | |
| 日時 | 水曜日、金曜日の 11:00～13:00、17:40～19:40(他曜日に変更の可能性もあり) | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 毎月4回＋α | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 有 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費<br>＜計＞ | 216,000 円<br>216,000 円 | @4,500 円×1×48 回 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費<br>はまどま運営費<br>＜計＞ | 192,000 円<br>24,000 円<br>216,000 円 | @500 円×1×48 回 |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 19 日 | 作成者名 | 粕谷恵(矢野真美) |

■NORA 第 22 期プロジェクト計画書（2021 年 7 月～2022 年 6 月）

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 心も体も元気に季節の薬膳食事会 | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 内倉和子 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 矢野真美（三好豊） | | |
| 目的 | 季節に応じた食材で、一般的に手に入る身近な食材をメインに、生薬(薬効のある自然物)も少々取り入れ、家でも作れる献立を作る。応用できるメニューも紹介。 | | |
| 目標 | ・できる限り神奈川県内産のものを使う(三好さんの野菜市からできるだけ購入)<br>・一緒に作って、食べて、美味しく楽しく養生する。<br>・状況に応じて、距離を取りながら…調理、試食。オンラインでの配信を検討。 | | |
| 内容 | ・内倉さんが学ぶ薬膳料理教室のメニューを基に、神奈川野菜と旬の素材を使って献立を作成、調理、試食する。 | | |
| 日時 | 三か月おきの日曜日 10:00～14:00 | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 2021 年9月 26 日（夏バテを祓う薬膳ごはん）<br>12 月（寒さに負けない！薬膳でクリスマスメニュー）<br>2022 年 3 月（春を祝う、薬膳ひな祭りごはん）<br>6 月（梅雨のだるさを吹き飛ばす薬膳ごはん） | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 3,000 円（会員 2,500 円）<br>未就学児対象のハーフサイズ：1,000 円<br>※前売り回数券 5 回分（有効期限 1 年）：15,000 円 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費<br>＜計＞ | 60,000 円<br>60,000 円 | @3,000 円×5×4 回 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費<br>はまどま運営費<br>＜計＞ | 50,000 円<br>10,000 円<br>60,000 円 | @500 円×5×4 回 |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 19 日 | 作成者名 | 矢野真美 |



■NORA 第 22 期プロジェクト計画書（2021 年 7 月～2022 年 6 月）

| | | | |
|---|---|---|---|
| プロジェクト名 | 四季の宴～神奈川野菜で至福のフレンチ | | |
| カテゴリー | ムラ | | |
| リーダー | 勝野真美 | | |
| スタッフ(リーダーを除く) | 國光博敏、北爪彩子 | | |
| 目的 | 國光シェフの野菜への、料理への想いを一皿の上で味わい、聴く会とする。 | | |
| 目標 | ・國光シェフとつながりのある生産者の畑での収穫とフレンチのコラボを再開したい。 | | |
| 内容 | 國光シェフが四季の野菜や素材を使って作るフレンチをいただく。特に、「はまどま」でないと食べられない一押しメニューを考案する。 | | |
| 日時 | 年 4 回を予定（再開のタイミングは検討中） | | |
| 場所 | はまどま | | |
| 年間スケジュール | 國光シェフのタイミングで、年 4 回を予定。 | | |
| 一般募集の有無 | 有 | | |
| 参加費の有無 | 5,000 円 | | |
| 収入見込額(a) | 参加費<br>＜計＞ | 120,000 円<br>120,000 円 | @5,000 円×6×4 回 |
| 支出見込額(b) | 消耗品費<br>はまどま運営費<br>＜計＞ | 168,000 円<br>12,000 円<br>120,000 円 | @500 円×6×4 回 |
| 収支見込額(a-b) | 0 円 | | |
| 備考 | | | |
| 作成年月日 | 2021 年 7 月 19 日 | 作成者名 | 矢野真美 |

第４号議案　第22期（2021年7月～2022年6月）予算

[収入]

| 科目 | 第20期決算額 | *第21期予算* | 第21期決算額 | 第22期予算額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 会費 | 513,000 | *540,000* | 521,000 | 540,000 | 運営会員@12,000*15+一般会員@3,000*120 |
| 寄付金 | 1,472,874 | *100,000* | 185,950 | 100,000 | 個人寄付 |
| 助成金 | 1,430,000 | *810,000* | 1,795,804 | 1,200,000 | 緑の募金400千円、よこはま夢ファンド770千円、神奈川県森林協会30千円 |
| 自主事業収入 | 2,036,950 | *2,000,000* | 1,669,392 | 1,600,000 | 竹細工912千円、はぶすぱ342千円、各事業参加費等 |
| 販売収入 | 288,993 | *100,000* | 0 | 60,000 | チェーンソー関連消耗品販売 |
| 受託事業収入 | 7,397,960 | *6,000,000* | 6,626,308 | 6,000,000 | 森ボラ体験2,728千円、ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟ指導997千円、GGift600千円 |
| 雑収入 | 144,083 | *150,000* | 798,100 | 150,000 | 環境教育出前講座120千円、講師謝金等 |
| 当期収入合計（A） | 13,283,860 | *9,700,000* | 11,596,554 | 9,650,000 | |

[支出]

| | 科目 | 第19期決算額 | *第20期予算* | 第21期決算額 | 第22期予算額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業人件費 | 給料手当 | 0 | *0* | 0 | 0 | 研究員給料 |
| | 臨時雇賃金 | 0 | *0* | 0 | 0 | |
| | 福利厚生費 | 0 | *0* | 0 | 0 | |
| | 法定福利費 | 0 | *0* | 0 | 0 | 社会保険料、労災保険料 |
| 事業経費 | 事業委託費 | 4,964,878 | *4,000,000* | 4,802,382 | 4,000,000 | 受託事業、山仕事、デザイン料、外注費 |
| | 諸謝金 | 2,386,847 | *1,750,000* | 2,000,127 | 1,800,000 | 竹細工、講座講師謝礼 |
| | 印刷製本費 | 21,610 | *30,000* | 14,487 | 20,000 | 報告書印刷、コピー代 |
| | 会議費 | 10,861 | *10,000* | 0 | 10,000 | 会議室料、茶代等 |
| | 旅費交通費 | 20,498 | *100,000* | 1,000 | 20,000 | 講師旅費 |
| | 通信運搬費 | 42,166 | *40,000* | 69,044 | 50,000 | 郵送料、宅急便、備品送料 |
| | 消耗品費 | 2,303,000 | *700,000* | 579,925 | 400,000 | 山仕事道具、工具 |
| | 器具備品費 | 0 | *140,000* | 0 | 150,000 | PC |
| | 修繕費 | 13,189 | *100,000* | 0 | 50,000 | |
| | 賃借料 | 30,646 | *30,000* | 112,680 | 100,000 | レンタカー、チッパー、会場借上 |
| | 減価償却費 | 68,915 | *50,000* | 45,770 | 40,000 | 竹剥ぎ機 |
| | 保険料 | 83,457 | *100,000* | 106,672 | 100,000 | グリーンボランティア保険、イベント保険 |
| | 調査研究費 | 70,000 | *50,000* | 3,772 | 20,000 | 資料購入、研修会参加 |
| | 支払手数料 | 22,014 | *20,000* | 20,263 | 20,000 | |
| | 広告宣伝費 | 33,000 | *50,000* | 44,883 | 50,000 | |
| | 販売仕入 | 256,982 | *80,000* | 0 | 40,000 | チェーンソー関連消耗品仕入 |
| | 事業仕入 | 0 | *0* | 982,368 | 900,000 | |
| | 雑費 | 20,300 | *20,000* | 0 | 20,000 | |
| 管理費 | 印刷製本費 | 7,700 | *10,000* | 2,013 | 10,000 | |
| | 業務委託費 | 100,000 | *100,000* | 100,000 | 200,000 | 経理・決算・納税委託 |
| | 通信運搬費 | 152,587 | *120,000* | 122,890 | 120,000 | 電話・通信、ネット使用料 |
| | 消耗品費 | 134,978 | *30,000* | 7,630 | 30,000 | 会計ソフト等 |
| | 水道光熱費 | 104,232 | *120,000* | 84,356 | 100,000 | |
| | 地代家賃 | 987,975 | *990,000* | 991,980 | 990,000 | 家賃@82,500円*12 |
| | 諸会費 | 18,172 | *30,000* | 10,400 | 20,000 | 町内会費、ネットワーク団体会費 |
| | 租税公課 | 4,900 | *5,000* | 500 | 5,000 | |
| | 支払手数料 | 33,818 | *35,000* | 51,348 | 40,000 | ネットバンキング25千円、振込手数料 |
| | 雑費 | 20,100 | *15,500* | 44,016 | 30,000 | |
| 経常外 | 固定資産除却損 | 0 | *0* | 0 | 0 | |
| | 法人税、住民税及び事業税 | 74,500 | *74,500* | 74,500 | 74,500 | |
| | 当期支出合計（B） | 11,987,325 | *8,800,000* | 10,273,006 | 9,409,500 | |
| | 当期収支差額（A)-(B) | 1,296,535 | *900,000* | 1,323,548 | 240,500 | |

## 第５号議案　役員選任

下表のとおり、理事・監事を選任する。これまでの NORA の組織運営に貢献してきた実績、ジェンダーバランスの観点も踏まえて、新たに鈴木美奈会員を理事に選任する。そのほかの理事・監事は再任する。なお、定款上、理事は 5 人以上最大以内、役員の任期は 2 年であり、再任は妨げない。

| | | |
|---|---|---|
| 理事 | 石田 周一 | 社会福祉法人同愛会、田園都市生活シェアハウス 代表 |
| 理事 | 島村 雅英 | 横浜エコアップ研究所 |
| 理事 | 鈴木 美奈 | graphic design 37 |
| 理事 | 中川 欅 | 中学校理科教員 |
| 理事 | 中林 博志 | 社会福祉法人あおぞら 理事 |
| 理事 | 松村 正治 | 中ヶ谷戸オフィス、野兎舎 代表 |
| 理事 | 三好 豊 | 神奈川・緑の劇場 代表 |
| 理事 | 吉武 美保子 | 特定非営利活動法人新治里山「わ」を広げる会 事務局長 |
| 監事 | 平石 真司 | 特定非営利活動法人日本の竹ファンクラブ 理事長 |